別表4 人材養成その他教育研究上の目的

	战その他教育研究上の目的
法学研究科	法学研究科の博士前期課程には、法学研究者養成コースと高度職業人養
	成コースが設けられている。法学部や法科大学院では、現行法の解釈や運
	■用の実態を学び、法的技術を習得することに主眼が置かれるのに対し、本
	研究科の両コースでは、これらの実務的な法的知識の習得を前提に、社会
	■科学としての法学の研究にまで深化することを主たる目的としている。法 ■
	学研究者養成コースでは、大学教員などの自立した法学研究者の養成を目
	的としているが、同課程修了後に、企業や官公庁の法務担当などの専門職
	に就く道も開かれている。高度職業人養成コースでは、法学に関する高度
	な専門知識を有する公務員、教員そして民間企業の法務分野の担当者など
	の職業人の養成を目的としており、同課程修了後は各自のキャリア設計に
	沿って実務に携わることを予定し、原則として博士後期課程の進学を予定
	していない。博士後期課程では、自立した法学研究者の養成を目的として
	おり、課程博士論文の作成の指導に力点を置くとともに、研究業績の蓄積
八沙子产士子	を促進することによって大学教員など研究職への就職を支援する。
公法学専攻	公法学専攻は、基礎となる実定法分野の科目のみならず先端分野の多様 な科目を修得させ、自立した法学研究者及び高度専門職業人の養成を目的
	な付日を修存させ、目立した伝子研究有及い高度専門職業人の養成を目的 とする。博士後期課程は、法学分野での自立した研究者の養成を目的とし
	こりる。 博工後期味性は、伝子分野での自立した切先者の養成を自的とし ており、先端分野の科目や比較法・基礎法の多様な科目を修得させ、広範
	な知識と独創性を持った研究者の養成を目指す。
民事法学専攻	民事法学専攻は、民法・商法等の実定法科目のみならず先端分野・基礎
八事四十十八	法分野の多様な科目を修得させ、研究者及び法学領域の専門性を要する職
	業等に必要な能力を養成することを目的とする。博士後期課程は、先端科
	目や比較法・基礎法の多様な科目を修得させ、法学分野の研究者として自
	立して研究活動を行うために必要となる高度な研究能力と、その基礎とな
	る豊かな学識を養うことを目的とする。
商学研究科	商学研究科は、我が国における「商学のパイオニア」としての長き伝統
	を持つ商学部の教育を基礎に、商学の各分野における、より高度な専門的
	知識を教授することにより、将来第一線の研究者及び高度専門職業人の育
	成を図ることを目的とする。博士前期課程では、幅広く高度な商学関連知
	識を教授することにより優れた問題解決能力及び研究能力の基礎を修得さ
	せ、自立して活動できる高度専門職業人と基礎的研究能力を習得した研究
	者の養成を目的とし、博士後期課程では、グローバルな視野に立脚し最先 端の高度な専門的知識を教授することによって、革新的な知識の創造力を
	満の同度な等 的知識を教授することによって、単利的な知識の創造力を 持った研究者の養成を目的とする。
商学専攻	商学専攻では、商学研究科の目的の下、「商(Commerce)」にかかわる
四十五公	現象及び活動を多面的・多角的に攻究する。専攻には、経済、商業、経
	営、会計、金融・証券、保険、交通及び貿易の8つの系列を設置し、各系
	列では、少人数教育を基本とし、学問の進展を考慮して基礎から最先端ま
	での知識と分析手法を効果的に修得できるようになることを目的とする。
政治経済学研究	政治経済学研究科には、政治学専攻と経済学専攻が設けられ、横断的に
科	は政治学、社会学、経済学その他隣接諸科学を包含し、縦断的学問構造と
	して、理論、歴史、政策の三位一体体系から構成される総合社会科学の追
	究を教育研究上の目的としている。そして、高度な専門的知識とそれを応
	用できる研究手法を備え、新たな課題に挑み、社会に貢献できる人材を育
	てることを使命としている。
	博士前期課程は、研究者コースと高度職業人コースの2つのコースを有している。研究者コースは、博士後期課程して、農業会により国際的によ
	している。研究者コースは、博士後期課程との一貫教育により国際的にも
	通用する若手研究者を養成することを目的とし、高度職業人コースでは、 グローバルに活躍できる高い判断能力を備えた高度職業人を養成すること
	クローハルに活躍できる高い判断能力を備えた高度職業人を養成すること を目的とする。博士後期課程は、自立性・創造性・革新性に優れたオリジ
	たりかとする。 特工後期味性は、自立性・制道性・単利性に優れたオリン ナリティにあふれる、国際的にも十分通用できる研究者の養成を目的とす
	プップイにめぬれる、国际的にも「ガ迪用できる明元年の養成を自動とり る。
	I. ∞ ∘

-t vt)); ;	THE STATE OF THE S
政治学専攻	政治学専攻では、政治学、社会学及びその関連領域の学問を修得させ、
	特定分野のみならず、政治・社会現象全体に対する総合的視野と分析能力
	を有した専門的な研究者や高度職業人を養成する。博士前期課程の研究者
	コースでは、博士前期・後期課程の一貫した研究指導体制をとることに
	よって、早期の博士学位取得を推進するとともに、先端的な課題に取り組
	み、国際的にも十分通用できる自立した研究者の養成を目指す。他方、高
	度職業人コースでは、関連分野の幅広い知識を習得して、複雑な現代の政
	治的及び社会的現象に十分対応できる高度専門職業人の養成を目指し、ア
	ナリスト、公務員、政治家、教員、ジャーナリスト等各種専門職として専
	門知識と研究能力を生かして、広く社会で活躍できる人材の育成を目指
	す。
経済学専攻	7。 経済学専攻では、経済学及びその関連領域の学問を修得させ、特定分野
在伊 丁 号以	のみならず、経済社会全体に対する総合的視野と分析能力を有した専門的
	な研究者や高度職業人を養成する。博士前期課程の研究者コースでは、博工前期課程の研究者コースでは、博工前期課程の研究者コースでは、博工前期課程の研究者コースでは、博工の構造性制ない。
	士前期・後期課程の一貫した研究指導体制をとることによって、早期の博力が保証がある。国際的には上
	士学位取得を推進するとともに、先端的な課題に取り組み、国際的にも十
	分通用できる自立した研究者の養成を目指す。他方、高度職業人コースで
1	は、関連分野の幅広い知識を習得して、複雑な現代の経済的現象に十分対
1	応できる高度専門職業人の養成を目指し、エコノミスト、アナリスト、公
1	務員、教員、ジャーナリスト等各種専門職として専門知識と研究能力を生
<u> </u>	かして、広く社会で活躍できる人材の育成を目指す。
経営学研究科	経営学研究科は、独立した精神と個の強さを有し、優れた専門知識を身
	につけた人材を養成することを目的とする。博士前期課程では、研究・教
	育分野におけるスペシャリストを育成し、様々な企業や公的分野における
	トップマネジメント及び経営関連分野における高度専門職業人の育成を目
	標とする。博士後期課程では、研究領域のプロフェッショナル、すなわ
	ち、大学や研究機関で研究・教育の任に当たる人材の養成を目標とする。
	博士前期課程においても、また後期課程においても、学問の本質を究める
	とともに、今日的な問題の解明・解決にも力を注ぐことにより実学として
	の経営学を追究する。
経営学専攻	経営学専攻では、特定分野はもとより経営現象全体に対する総合的視野
	を有した人材養成を目的とする。そのために、関連領域を、経営理論、企
	業論、経営科学、経営管理、経営史、人事労務、公共経営、財務会計、管
	理会計の9専門分野に系統化し、それらを有機的に配置する。そして、各
	系における最重要課題を、系に特化した専門能力ばかりでなく、多面的視
文学研究科	点から解決できる能力を育成する。 文学研究科は、日本文学、英文学、仏文学、独文学、演劇学、文芸メ
	ディア、史学(日本史学、アジア史、西洋史学、考古学の4専修)、地理
1	プイノ、丈子 (ロ本丈子、アンノ丈、四件丈子、ちロ子の4号形) 、地理 学、臨床人間学 (臨床心理学、臨床社会学の2専修) から構成され、いず
1	子、端床八间子(端床心壁子、端床位云子の2号形)が5情成され、い9 れの専攻・専修においても、多角的な人文科学の基礎科学を修得しつつ、
	1
1	現代社会における人間存在の普遍的な課題の解明に寄与することを目的に
1	している。豊かな感性と鋭い理性を備え、高邁な精神文化と科学的な時間、変問認識なる復見なり、大概な人は表式、構造説明報のは専問的知識な
1	間・空間認識を会得した優れた人材育成(博士前期課程では専門的知識を
1	有する社会人を、後期課程では専門的に研究に携わる研究者の養成)を目
	標とする。
日本文学専攻	日本文学専攻は、古典から現代までの日本文学全般を多様な視座から究
1	明するとともに、その統一的把握を目指す。従来の文献研究・テキスト批
	評を堅固な基礎としつつ、歴史に対する幅広い関心を持って新しい研究領
1	域を切り開き、文学と社会の関連を明らかにする。このような実践を通し
1	て、日本文学の専門的研究者・教育者及び日本文化に関する高度な素養を
	身につけた教養人の育成を行う。
英文学専攻	英文学専攻博士前期課程は、4専修から構成される。英文学・米文学・
	英語学専修では、各分野についての専門知識を身につけて後期課程に進学
	し、研究者への道を歩む人材の養成を目的とし、英語教職専修では、高度
	な専門知識を有する中高英語教員の養成を目指す。博士後期課程は、英文
	学・米文学・英語学の3専修から構成され、身につけてきた知識を基盤に
1	各自の研究を発展させて博士論文を完成させ、その後も自立した研究を積
	み重ねていく人材を育てる。
i	IV/ 中4× く V・ \ 八字 と 日 し 幻。

仏文学専攻	フランスとその文化は、一方ではギリシャーローマ、他方ではユダヤー
	キリスト教の伝統に深く根ざしながら、常に様々な分野で斬新な創造を続
	けてきた。その役割は今も縮小してはおらず、EU及び世界50ヶ国に及
	ぶフランス語圏の中心として、そこから学ぶべきものが多々ある。そのよ
	うな状況の中で、本専攻では、高度なフランス語運用力、フランス文化・
	思想・文学に関する広範な知識、繊細かつ大胆な国際感覚と実践力を備え
	た研究者、社会人、文化人の育成を目指す。
独文学専攻	ドイツ文学を歴史的コンテクストと現代的アクチュアリティを視野に入
	1
	れながら研究することによって、ドイツの文化と社会についての理解を深
	め、日独の交流に役立つような人材を養成することを目的とする。このた
	めには、学術的な討論ができる程度にドイツ語の運用能力を高め、同時
	に、日本のことをドイツ語で語ることができるような日本の文化について
	の深い教養を培う。
演劇学専攻	演劇学専攻では、博士前期課程においては、高度な専門的知識を修得し
	た研究者の養成に加え、幅広く劇作家、演出家、戯曲・演劇の歴史的・理
	論的著作の翻訳家、演劇制作者などを目指す人材の養成を目的とする。博
	士後期課程においては、課程博士号の取得を目指す者を含めて、演劇学研
	究者を目指す人材の養成を目的とする。
文芸メディア専	文芸メディア専攻は、「メディア環境の中の文芸」という立場を設定
攻	し、メディアとは何かという問題意識を重く踏まえた上で、「文芸という
	メディア」及び「メディアとしての文芸」の視座から文芸研究・メディア
	研究に取り組む。文芸への深い知識と教養を兼ね備えながら、言語テキス
	トとそれが置かれたメディア環境の相互的関連を視野に収める専門的知識
中 於 本 水	人の育成を目指す。
史学専攻	史学専攻は、日本史・アジア史・西洋史・考古学の4専修から構成さ
	れ、研究素材である各種史資料の分析に基礎を置く実証主義と歴史を生み
	出したフィールドを重視する実践主義を教育・研究の柱とし、学際的・国
	際的視点を伝統的に重視している。近年は、専攻が属す研究科の特性を生
	かし、文学研究科諸専攻との学際協力も緊密である。その研究・教育を通
	じ、史学専攻は、歴史学の専門研究者及び教育者並びに豊かな歴史への素
	 養を身につけた高度教養人を育成することを目的とする。
	(日本史学専修)
	日本史学専修は、日本の歴史を多様な視座から究明するとともに、その
	統一的把握を目指す。その研究・教育は、各種史資料の批判的検討や
	フィールドワーク等による実証を基礎とするとともに、視野を隣接諸科学
	にも広げ、また、国際的視野に立つことを目指す。日本史学専修ではその
	ような教育・研究の実践を通じ、日本史学の専門的研究者・教育者及び日
	本史学の高度な素養を身につけた教養人の育成を目標とする。
	(ノンノ気等形) アジア史専修は、中国・朝鮮の東アジア史研究を大きな柱に、西アジア
	史をもう一つの柱に据え、文献資料や出土史料の分析だけでなく、現地調
	査や外国研究者との交流も積極的に推進して研究を進める。博士前期課程
	ではアジア諸地域に対する深い学識を持った高度教養人を、博士後期課程
	では国際的発信力を持った研究者を養成する。
	(西洋史学専修)
	西洋史学専修は、人間社会の歴史的探求をその本旨とするが、中でも西
	洋の古代から現代までを見通してそれを行う。また、世界に対する幅広い
	見識と歴史についての深い理解と教養を身につけて、それを基に自分自身
	をしっかりと表現でき、人類の発展に寄与できる人間形成を目指す。
	(考古学専修)
	考古学は、遺跡・遺物といった物質資料に基づき文字の無い時代を含めた。
	た歴史の再構築を目指す学問である。その教育・研究は、発掘・測量調査
	又は遺物実測などによる現場性・実証性を基礎に置くと同時に、視野を隣にはは、1872年には、1872年によりにより、1872年によりにより、1872年により、1872年により、1872年により、1872年により、1872年により、1872年により、1872年により、1872年により、1872年により、1872年により、1872年により、1872年により、1872年により、1872年によりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりに
	接諸分野・諸外国に広げ、考古学的研究成果を歴史学の大きな枠組みの中
	に位置づけることを目指す。本専修では地道な基礎研究に加えて、学際
	的・国際的研究活動に参加することを通じて、考古学の専門的研究者、地
	方自治体の文化財担当者、博物館学芸員、教育者及び考古学の高度な素養
	を身につけた教養人の育成を目的とする。
•	

地理学専攻 地理学専攻は、グローバルな空間的視野を重視しつつ、都市や村落及び その複合体の地域構造を、社会・文化・経済・産業・行政・自然条件等の 観点から実証的に探究する能力を持つ人材の育成を目的とする。その方策 として、深い専門知識獲得のための体系的な学習指導を徹底し、かつ、 フィールドワークによる継続的な実地教育と研究指導を実践する。 臨床人間学専攻 今日の人間社会は、政治・経済・文化・教育の構造的変化を伴う未曾有 の変動期を迎え、既成の価値観や人間関係の在り方を根底から揺るがす変 化と混乱の事態に直面している。臨床人間学専攻は、現代社会が直面する こうした状況における心理・社会的危機の克服に向けて、個々の地域社会 や個人を実践的に支援する専門家及び公的セクターで貢献する実践者を育 成するとともに、直面する危機的状況のメカニズムを解明するための研究 者を育成することを目的とする。 (臨床心理学専修) 臨床心理学専修は、今日の社会において緊急性の高いニーズである「心 のケア」、すなわち、うつ病や不安障害等の心の病気、不登校やいじめ、 無気力等の学校不適応、育児ストレス、児童虐待、家庭内暴力等の家族関 係の問題など、あらゆる世代の個人及び様々な集団において生じる心理・ 社会的諸現象への専門的対処に直接的かつ具体的にアプローチする臨床心 理学の専門家の養成と実践的な研究の推進を目指す。 (現代社会学専修) 現代社会は、地球温暖化をはじめとする環境や生命の危機、グローバル 化と情報化にともなう政治・経済・文化の構造変化と格差拡大などの新た な問題、また世界的な人権意識の向上、差別解消や格差是正への要求の高 まりなどをかかえ、社会システムのあり方を、持続可能でより平等で人権 が尊重されるものに根底から作り変えるべき重要な地点にある。現代社会 学専修は、現代社会の危機や新たな社会的問題の克服と、よりよい社会の 創生に向けて、複雑な状況のメカニズムを解明する研究者と、具体的な活 動に取り組む専門家および実践者を育成することを目的とする。 (教育学専修) 教育学専修は、多文化共生社会、およびデジタルアーカイブを主要な構 成要素とする知識基盤社会における人間形成と生涯にわたる学びが重視さ れる今日、「教育」という事象を教育現場と教育実践に焦点あてつつ、教 育学、社会教育学、博物館学および図書館情報学の4領域による横断的・ 多角的な教育研究をとおして、現代社会に求められる教育に関する幅広い 知見と高度な専門知識を有した人材を育成するとともに、学校、公民館、 博物館、図書館等の教育関係機関における教育実践を担う専門職の養成と 再教育を目的としている。 理工学研究科では、自然の法則と数理の構造を理解し、それらを応用し 理工学研究科 て、人類が継続的に発展し、幸せに生きることを実現する、すなわち、理 と工の融合を目指して教育・研究活動を行っている。この目的達成のた め、応用を考慮した基礎科目と基礎理論に基づいた応用科目、そして広範 な分野への適用を考慮した境界領域科目の設置をカリキュラムの基本方針 とし、科学技術のみならず、社会・人文科学分野等において領域横断的に 活躍ができ、時代の変化とともに新たな分野に積極的に挑戦し、さらには 国際的に通用する実力を身につけた、人間性豊かな研究者と高度専門職業 人の養成を目標とする。 電気工学専攻 電気工学専攻では、電気工学の専門知識を土台に電気工学にかかわる特 修科目を修得し、科学的センスと創造性を身につけた高度に専門性の高い 技術者として広い分野において指導的立場で活躍が期待できる「個」の確 立した人材の育成を目指す。幅広い視野に立って電気工学を土台に理学、 工学を融合した高度に専門性の高い研究・教育を行い、多様化と専門化が 求められている現状に即した電気工学系研究者・技術者を養成する。

博士前期課程では、電気工学に係る広い知識及び高度な技術を身につけた電気系技術者を育成する。博士後期課程では、博士前期課程までに身につけた知識・技術に加え、分野横断的な教養に基づいて新たな価値を創造し、未来を牽引する先導的かつ指導的な技術者・研究者を育成する。

機械工学専攻

機械工学専攻では、幅広い機械工学の各分野及びその関連分野を有機的に結びつけることで、社会の要請に応じた新たな技術・システムの実現に寄与することを目指す。このために、高度な専門知識・創造力と高い倫理観・使命感を基に自ら考え行動でき、国際性に富んだ機械系技術者・研究者を育成するとともに、機械工学分野の深化・拡張・発展に資する研究を実施し、研究成果と教育力を社会に還元することを目的としている。

博士前期課程では、機械工学に係る広い知識及び高度な技術を身につけた機械系技術者を育成する。博士後期課程では、博士前期課程までに身につけた知識・技術に加え、分野横断的な教養に基づいて新たな価値を創造し、未来を牽引する先導的かつ指導的な技術者・研究者を育成する。

建築·都市学専 攻

建築・都市学専攻では、建築・都市を中心とする空間環境の創造・再生を多様な立場で担い、国際的視野に立って人間を取り巻く環境・社会・文化の持続可能な発展に貢献できる人材の育成を目指す。この人材養成の目的を達成するため、確固たる建築学術の体系を踏まえた総合性・横断性・革新性を支える教育研究基盤の確立、国際的環境で通用する建築・都市デザインのプロフェッショナルの育成、環境創造の基礎となる芸術・文化的教養の再定義が肝要である。これを踏まえて、本専攻に、建築学系、国際建築都市デザイン系及び総合芸術系を置く。

(建築学系)

建築学系では、確固たる建築学術の体系を踏まえつつ、横断性・総合性・革新性をもって人間環境の持続的発展に貢献できる人材の育成を目指す。安心・安全かつ快適な自然環境と調和した社会の持続を、空間環境の創造という側面から実現していくことを究極的な目的とし、確固たる体系に基づいた教育研究により、社会的に信頼される技術者や研究者を養成する。

博士前期課程では、歴史・意匠・計画、建築構造・材料及び建築環境・設備にかかわる高度な知識と先端技術を有する研究者又は高度専門職業人を育成する。博士後期課程では、博士前期課程で培った専門性を一層高め、独創的・先端的な研究・開発と実社会での指導的役割を担う研究者・教育者を育成する。

(国際建築都市デザイン系)

国際建築都市デザイン系では、国際的環境で通用する建築・都市デザインのプロフェッショナル、特に国際的環境において建築・都市の創造・再生を実践的に担えるプランナーやデザイナーを育成する。

博士前期課程では、国際的な環境における建築デザイン・都市デザインの実践に必要な知識、語学力及び技能を有する研究者又は高度専門職業人を育成する。博士後期課程では、博士前期課程で培った専門性を一層高め、国際社会での先導的役割を担う研究者・教育者・実務家を育成する。

(総合芸術系)

総合芸術系では、芸術文化の歴史と現在に対する洞察と、自然と社会の環境への適切な配慮を、創造的な研究へとつなげていくことのできる人材を育成する。

博士前期課程では、特定の芸術分野における深い知識と、分野を横断する広い知識を併せ持つ研究者・教育者・作家を育成する。博士後期課程では、博士前期課程で培った研究の専門性を一層高め、各芸術分野においてより先導的役割を担う人材を育成する。

応用化学専攻

応用化学専攻では、基礎から高度な応用まで幅広い視野と独創性を持った科学者・技術者の育成を目指す。そのために、化学の基礎から境界領域を含めた幅広い応用研究までを対象とし、理学・工学両面から思考するために必要な教育と研究を行う。

博士前期課程では、化学産業のニーズに即戦力として応えうる応用技術研究のみならず、基礎化学も含めた広範な分野にわたる知識を有する研究者又は技術者を育成する。博士後期課程では、博士前期課程で養った能力を生かし、新たな分野の発想力・発想を実現する計画の実行力を兼ね備えた将来の化学技術の発展を担いうる斬新で柔軟な発想を持つ研究者を育成する。

F	
情報科学専攻	┃ 情報科学専攻では、時代を切り開く豊かな創造力と柔らかな思考力の育
	成を目指す。変化の激しい時代に対応できる問題発見能力と解決能力を身
	につけさせるため、基礎的な力を更に強化した上で、専門領域に関する実
	践的で高度な内容の教育を行う。また、国際性豊かな創造力と幅広い視野
	を持つ情報科学の専門家の育成を行う。研究を通し、その専門領域での研
	究開発能力を身につけ、有用で新規性のある研究成果や作品を国内外に発
	信する。
	■ 博士前期課程では、情報科学の高度な理論を理解し、それを実際のシス
	テムの開発や運用に活用できる人材を育成する。博士後期課程では、情報
	科学の高度な理論を新規に作り出し、それを応用したシステムを構築でき
	る独立した研究者又は高度な専門性を有する開発者を育成する。
数学専攻	┃ 数学専攻における人材養成の目的には、数学を「使う」、「創る」及び
	「伝える」という3つの側面がある。特に大学院教育においては、上記の
	いずれか1つではなくすべてが、互いに無関係のものとしてではなく、密
	接に結びついた形で、人材養成の目的に寄与するよう学生の指導を行う。
	■ 博士前期課程では、学生が数学を含む科学技術全体を鳥瞰する独自の観
	点を構築し、それを修了後の社会的活動の礎とするべく、数学を使い、創
	り、伝える能力を養成する。また、博士後期課程では、数学を「創る」側
	面に重点を置き、その成果が社会に還元されるよう特段の努力を払うよう
	に学生を導く。
物理学専攻	物理学専攻では、自然法則の理解に裏打ちされた正しい自然観を備え、
	あらゆる場面でその根本原理に基づいて現象を演繹的に理解しようとする
	物理的思考ができる人材の育成を目指す。
	博士前期課程では、物理学の知見や論理的な思考方法を生かして、社会
	に貢献できる研究者又は高度専門職業人を育成する。博士後期課程では、
	主体的に物理学の研究を推進し、その成果をもって自然科学の進展に貢献
	しうる研究者の育成を目指す。
農学研究科	■ 産業の著しい発展により人類が豊かになった反面、地球環境全体にかか。
	わる問題が深刻化している21世紀は、環境の世紀とも言われている。農
	学研究科は、自然と人間の持続的な共生と調和を目指して「食料・環境・
	生命」の総合科学を推進している。分子レベルから地球環境レベルに至る
	多様な課題について、ライフサイエンスから社会科学までの幅広いアプ
	ローチにより、生命への洞察力と豊かな人間性を育み、高度な専門知識を
	備え、広い視野から問題解決に当たることができる専門性と総合性を兼ね
	備えた人材を育成することを目的とする。
農芸化学専攻	農芸化学専攻では、「食料・環境・生命」の分野における諸課題を物理、
	化学及び生物学の自然科学並びに分子生物学、工学などを基にし、先端技
	【術を駆使して解決することを主眼とする。教育研究上の目標に、人と他生
	物の共存を図る(持続可能な地球環境) ことも念頭に置き貢献することを
	目的とする。教育・研究を通して輩出する人材は、農芸化学分野に関係す
	る世界をはじめ、あらゆる職種に適う応用力のある専門性に富んだ人材の
	養成を目指す。
	博士前期課程では、農芸化学に係る広い知識及び高度な技術を身につけ
	博士前期課程では、農芸化学に係る広い知識及び高度な技術を身につけた研究者又は技術者を育成する。博士後期課程では、博士前期課程で培っ
	博士前期課程では、農芸化学に係る広い知識及び高度な技術を身につけた研究者又は技術者を育成する。博士後期課程では、博士前期課程で培った専門性を一層高め、独創的・先端的な研究・開発と実社会での指導的役
	博士前期課程では、農芸化学に係る広い知識及び高度な技術を身につけた研究者又は技術者を育成する。博士後期課程では、博士前期課程で培った専門性を一層高め、独創的・先端的な研究・開発と実社会での指導的役
曲光吉水	博士前期課程では、農芸化学に係る広い知識及び高度な技術を身につけた研究者又は技術者を育成する。博士後期課程では、博士前期課程で培った専門性を一層高め、独創的・先端的な研究・開発と実社会での指導的役割を担う研究者・教育者を育成する。
農学専攻	博士前期課程では、農芸化学に係る広い知識及び高度な技術を身につけた研究者又は技術者を育成する。博士後期課程では、博士前期課程で培った専門性を一層高め、独創的・先端的な研究・開発と実社会での指導的役割を担う研究者・教育者を育成する。 近年の人間活動の活発化に伴う地球環境の劣化、人口の爆発的増加に伴
農学専攻	博士前期課程では、農芸化学に係る広い知識及び高度な技術を身につけた研究者又は技術者を育成する。博士後期課程では、博士前期課程で培った専門性を一層高め、独創的・先端的な研究・開発と実社会での指導的役割を担う研究者・教育者を育成する。 近年の人間活動の活発化に伴う地球環境の劣化、人口の爆発的増加に伴
農学専攻	博士前期課程では、農芸化学に係る広い知識及び高度な技術を身につけた研究者又は技術者を育成する。博士後期課程では、博士前期課程で培った専門性を一層高め、独創的・先端的な研究・開発と実社会での指導的役割を担う研究者・教育者を育成する。 近年の人間活動の活発化に伴う地球環境の劣化、人口の爆発的増加に伴う食料不足等、人類を含めた生物の生存にとって憂慮すべき諸問題が生じ
農学専攻	博士前期課程では、農芸化学に係る広い知識及び高度な技術を身につけた研究者又は技術者を育成する。博士後期課程では、博士前期課程で培った専門性を一層高め、独創的・先端的な研究・開発と実社会での指導的役割を担う研究者・教育者を育成する。 近年の人間活動の活発化に伴う地球環境の劣化、人口の爆発的増加に伴う食料不足等、人類を含めた生物の生存にとって憂慮すべき諸問題が生じている。農学専攻では、遺伝子、細胞、個体、個体群・群集、生態系及び
農学専攻	博士前期課程では、農芸化学に係る広い知識及び高度な技術を身につけた研究者又は技術者を育成する。博士後期課程では、博士前期課程で培った専門性を一層高め、独創的・先端的な研究・開発と実社会での指導的役割を担う研究者・教育者を育成する。 近年の人間活動の活発化に伴う地球環境の劣化、人口の爆発的増加に伴う食料不足等、人類を含めた生物の生存にとって憂慮すべき諸問題が生じ
農学専攻	博士前期課程では、農芸化学に係る広い知識及び高度な技術を身につけた研究者又は技術者を育成する。博士後期課程では、博士前期課程で培った専門性を一層高め、独創的・先端的な研究・開発と実社会での指導的役割を担う研究者・教育者を育成する。 近年の人間活動の活発化に伴う地球環境の劣化、人口の爆発的増加に伴う食料不足等、人類を含めた生物の生存にとって憂慮すべき諸問題が生じている。農学専攻では、遺伝子、細胞、個体、個体群・群集、生態系及び景観に関する実験並びに理論研究を通して、効率的かつ持続可能な農業や
農学専攻	博士前期課程では、農芸化学に係る広い知識及び高度な技術を身につけた研究者又は技術者を育成する。博士後期課程では、博士前期課程で培った専門性を一層高め、独創的・先端的な研究・開発と実社会での指導的役割を担う研究者・教育者を育成する。 近年の人間活動の活発化に伴う地球環境の劣化、人口の爆発的増加に伴う食料不足等、人類を含めた生物の生存にとって憂慮すべき諸問題が生じている。農学専攻では、遺伝子、細胞、個体、個体群・群集、生態系及び景観に関する実験並びに理論研究を通して、効率的かつ持続可能な農業や人間と自然の共生を可能にする環境の構築に寄与する国際的にも活躍でき
農学専攻	博士前期課程では、農芸化学に係る広い知識及び高度な技術を身につけた研究者又は技術者を育成する。博士後期課程では、博士前期課程で培った専門性を一層高め、独創的・先端的な研究・開発と実社会での指導的役割を担う研究者・教育者を育成する。 近年の人間活動の活発化に伴う地球環境の劣化、人口の爆発的増加に伴う食料不足等、人類を含めた生物の生存にとって憂慮すべき諸問題が生じている。農学専攻では、遺伝子、細胞、個体、個体群・群集、生態系及び景観に関する実験並びに理論研究を通して、効率的かつ持続可能な農業や
農学専攻	博士前期課程では、農芸化学に係る広い知識及び高度な技術を身につけた研究者又は技術者を育成する。博士後期課程では、博士前期課程で培った専門性を一層高め、独創的・先端的な研究・開発と実社会での指導的役割を担う研究者・教育者を育成する。 近年の人間活動の活発化に伴う地球環境の劣化、人口の爆発的増加に伴う食料不足等、人類を含めた生物の生存にとって憂慮すべき諸問題が生じている。農学専攻では、遺伝子、細胞、個体、個体群・群集、生態系及び景観に関する実験並びに理論研究を通して、効率的かつ持続可能な農業や人間と自然の共生を可能にする環境の構築に寄与する国際的にも活躍できる高い問題解決能力を持つ高度専門職業人と農学研究者を育成する。
農学専攻	博士前期課程では、農芸化学に係る広い知識及び高度な技術を身につけた研究者又は技術者を育成する。博士後期課程では、博士前期課程で培った専門性を一層高め、独創的・先端的な研究・開発と実社会での指導的役割を担う研究者・教育者を育成する。 近年の人間活動の活発化に伴う地球環境の劣化、人口の爆発的増加に伴う食料不足等、人類を含めた生物の生存にとって憂慮すべき諸問題が生じている。農学専攻では、遺伝子、細胞、個体、個体群・群集、生態系及び景観に関する実験並びに理論研究を通して、効率的かつ持続可能な農業や人間と自然の共生を可能にする環境の構築に寄与する国際的にも活躍できる高い問題解決能力を持つ高度専門職業人と農学研究者を育成する。博士前期課程では、農学の幅広い専門知識を活かして社会に貢献できる
農学専攻	博士前期課程では、農芸化学に係る広い知識及び高度な技術を身につけた研究者又は技術者を育成する。博士後期課程では、博士前期課程で培った専門性を一層高め、独創的・先端的な研究・開発と実社会での指導的役割を担う研究者・教育者を育成する。 近年の人間活動の活発化に伴う地球環境の劣化、人口の爆発的増加に伴う食料不足等、人類を含めた生物の生存にとって憂慮すべき諸問題が生じている。農学専攻では、遺伝子、細胞、個体、個体群・群集、生態系及び景観に関する実験並びに理論研究を通して、効率的かつ持続可能な農業や人間と自然の共生を可能にする環境の構築に寄与する国際的にも活躍できる高い問題解決能力を持つ高度専門職業人と農学研究者を育成する。博士前期課程では、農学の幅広い専門知識を活かして社会に貢献できる人材を育成する。博士後期課程では、博士前期課程で培った専門性を一層
農学専攻	博士前期課程では、農芸化学に係る広い知識及び高度な技術を身につけた研究者又は技術者を育成する。博士後期課程では、博士前期課程で培った専門性を一層高め、独創的・先端的な研究・開発と実社会での指導的役割を担う研究者・教育者を育成する。 近年の人間活動の活発化に伴う地球環境の劣化、人口の爆発的増加に伴う食料不足等、人類を含めた生物の生存にとって憂慮すべき諸問題が生じている。農学専攻では、遺伝子、細胞、個体、個体群・群集、生態系及び景観に関する実験並びに理論研究を通して、効率的かつ持続可能な農業や人間と自然の共生を可能にする環境の構築に寄与する国際的にも活躍できる高い問題解決能力を持つ高度専門職業人と農学研究者を育成する。博士前期課程では、農学の幅広い専門知識を活かして社会に貢献できる

農業経済学専攻	現代社会には、農業と食料、環境と資源をめぐり様々な問題が発生している。農業経済学は、経済学を中心としつつも、隣接する経営学・社会
	学・政治学等の社会科学により、その解明にアプローチする分野である。
	それを学問的なベースとする農業経済学専攻は、これらの社会科学上の豊
	富な基礎知識を身につけ、国際的視点や歴史的視点から幅広く問題をとら
	る。ことに具体的な課題の解決に導く高い実践力を持つ人材の養成を目的
	とする。
	博士前期課程では、農業経済学に係る幅広い専門知識を活かして社会に
	貢献できる人材を育成する。博士後期課程では、博士前期課程で培った専
	門性を一層高め、独創的で社会をリードする研究・教育を担う研究者・教
	育者を育成する。
生命科学専攻	生命科学専攻では、生命科学とバイオテクノロジーの基本的な知識と研
	究手法を共通基盤とし、「食料、環境、生命」について基礎・応用の面か
	ら広く動・植物、微生物を対象に分子・細胞から個体レベルで研究を進め
	ている。これらを通じて、高度な専門知識と技術を持ち、食品、化学、医
	薬、ゲノム解析、生物資源、環境の保全など広い分野の研究・教育機関と
	産業界で活躍する人材を育成する。
	博士前期課程では、生命科学の素養と幅広い視野および論理的な思考を
	身につけ、食品、医療、生物資源、環境保全を含む様々な分野で活躍でき
	る人材を育てる。博士後期課程では、博士前期課程で培った専門性を一層
	高め、独創的・先端的な研究・開発と実社会で指導的役割を担う研究者・
	教育者を育成する。
情報コミュニ	高度情報社会の進展に伴い社会や社会が抱える問題は複雑化の一途をた
ケーション研究	どっているにもかかわらず、アカデミズムは、それに対する十分に有効な
科	処方箋を提示するには至っていない。情報コミュニケーション研究科で
	は、各分野の専門家が問題意識や提案を持ち寄り、「情報コミュニケー
	ション」という視座から、複雑化した高度情報社会を様々な角度から検討
	した後に再び自己の専門領域にフィードバックできる「場」を創設するこ
	とを目的とする。すなわち、教育の面においても研究の面においても「パ
	ラダイム転換型」又は「パラダイム創出型」の研究科となることを目指
	す。
情報コミュニ	高度情報社会の諸課題に取り組むために、情報コミュニケーション学専
ケーション学専	攻では、既存の専門研究によっては全体像がとらえきれなかった21世紀
攻	の諸問題を、学際的・領域横断的に把握・定式化し、有効な学問的・政策
	的ポートフォリオを自ら案出できる確固たる判断基準を持った研究者や実
	務家の養成・輩出を目指す。そのために、専門的なディシプリンの習得と
	並行して、早い段階から学生を研究プロジェクトに参画させ具体的な問題
	への学際的アプローチを実践させる。博士前期課程では、そうした学際
	的・領域横断的な視野と高度な専門的知識を有する人材を養成し、研究者
	に限らず社会に活躍しうる社会人の養成も目指す。博士後期課程では、それずれの研究公野の更ねる深化な図りのの一学際的、領域機能的な担照な
	れぞれの研究分野の更なる深化を図りつつ、学際的・領域横断的な視野を
	もって自らの専門分野で活躍できる研究者を養成する。 ■ 教養デザイン研究科は、21世紀において人類が直面している諸課題を
教養プリイン研	教養プリイン研究科は、21世紀において人類が世間している諸様超を 総合的・学際的に考察し、公共的観点に立って主体的に行動することので
九件	たっり・子房的に与祭し、公共的観点に立って王体的に打動することので きる人材の養成を目指す。教育研究のテーマは「人間性とその適正な環境
	さる人材の後成を目指す。教育研究のノーマは「人間性とその適正な環境 の探求」と、新時代にふさわしい「知の創造(デザイン)」である。博士
	前期課程では、科学技術の飛躍的発展によって生じた倫理的諸問題、グ
	同期課程では、科学技術の飛躍的発展によって生じた価壁的語问題、グローバル化が進む現代世界における異文化理解、脱領域化状況の中での平
	和構築、自然環境との共生、これらの諸問題を総合的に考察し、解決へと
	神情楽、自然現現との共生、これらの韻问題を総合的に考察し、解伏へと 導くことのできる高度な教養人の育成を目的とする。博士後期課程では、
	學へことのできる間度な教養人の自成を自的とする。 日後期課程では、 思想、文化、平和・環境の三つの領域において、自立した研究者の育成を
	おお、文化、子和・環境の二つの関域において、自立した研究者の背域を 目的としている。課程博士論文の作成に力点を置き、研究業績の蓄積を促
	直的としている。味程度工論文の作成に力点を置さ、研究来積の蓄積を促 進することによって、大学教員など研究職において活躍できる人材の育成
	を目的とする。
	[C H H → C / № 0

教養デザイン専攻 に、及び「平和・環境」の3つの領域がエースとため、「思想」、「文化」及び「平和・環境」の3つの領域がエースとが、一次の、関連」、「文化」及び「平和・環境」の3つの領域がエースとが、自力、な倫理の探求を目指す。関土の前期課程では、科学技術をごおける新たな倫理の探求を目指す。関土の対比社会において、集建を目指す。人物、「思など、 演変する以代社会において、生涯学習をも、関いて研究活動を行える人材の養成を目指す。 一年研究活動を行える人材の養成を目指す。 一年研究活動を対える「神学なの理解を対して、主体的に新党野なの事で関する側力が、社会に現現れる複雑な話問題に向き合い、新聞の本質を開拓する独別が、社会に発信し、社会に貢献とも関係して解析し、会、生物等に現れる複雑なの表示なを先別のなり、現代研究をと関い、の個社がの向上に素与することとにより的とする。この理象とのインタンネースを持ちて確な学と諸指す。 「神士が親親程では、数理科学的な方を持ての大きを中の地で活動を対して対象をは、一年研究活動を対して対象を対して対象を対して対象を対して対象を対して対象を対して対象を対して対象を対して対象を対して対象を対して対象を対して対象を対して対象を対して対象を対して対象を対して対象を対して対象を対して対象を行うして研究を実出しては、表述が出まるという。 東北 日本 一年	10.36 3.33	
置している。文理を融合し、総合化された知の創造と現代著と記げる新たな倫理の探求を目指す。 東上 前期課程では、科学技術の夢音しい発展、	教養デザイン専	┃ 教養デザイン専攻では、人類が直面する諸課題を包括的に探究するた ↓
置している。文理を融合し、総合化された知の創造と現代社会における所立な倫理の探求を目指す。東一年の神理報告では、科学技術の著習も特別に、人れて、高度な教養直が異なる現代社会において、生涯など目指す。博自立して研究は教養直接をデザギイン(創造)できる人材の養成を活かしたも、更に研究として研究活動を行える人材の養成を目指す。東日上の研究活動を行える人材の養成を目指す。東日上の研究活動を行える人材の養成を目指す。東日上の研究活動を行える人材の養成を目指す。東日上の研究活動を行える人材の養成を目指する数理科学の創造、展開及び発信力を行える人材の養成を目指する数理科学の創造、展開及び発信力を行える人材の養成を目指する数理科学の創造、展開及び発信力を対象を開始する場別がある人体の活動を対して、社会に現またの含され、問題の本質を開始する場別がある人体会に現またの主要の表別を対して、社会に現またの名ので、自然の場合である。とれ会に対しているとない。自然明し、国際理論の・領域機関型の数ステムを発信と、社会に資本する。主体的に新知る機能なとのより、自然明し、これを社会に選示することにより自分とする。この理念の下に、ンタ地会インで、対して、技術を対して、技術を対して、技術を対して、技術を持つに対して、技術を持つに対して、技術を持つに対して、技術を持つに対して、技術を持つに対して、技術を持つに対して、技術を対して、技術を対して、技術を対して、技術を対して、技術を対して、技術を対して、技術を対して、技術を対して、技術を対して、技術を対して、技術を対して、大きなでが、対して、対して、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	攻	め 「思想」 「文化」及び「平和・環境」の3つの領域研究コースを設!
た倫理の探求を目指す。博士前期課程では、科学技術の著しい発展、グローバル化の到来など、激変する現代社会において、生涯学習をも視断性と、激変する現代社会において、生涯学習をも視断性と、激変する現代社会において、生涯学習をも視断性と、激変する現代社会に対しながら、更に自立して研究活動を行る人材の養成を目指す。 先端数理科学研究科は、「社会に貢献する数理科学の創造、食用及び発信という共通の理念の下、社会に関本が異なな諸問題に向く主体的に新分野を開石で独創力がある人材の資成を目指す。 現象数理学専攻 現象数理学専攻 現象数理学専攻 地球の大きな地域情断型の教育が最近に対した。といいに解明した。という共通の理なが情報などの大きな、という大きの観光を発した。 現象数理学専攻 地球の大きな地域情断型の教育が表し、日本の大き現をのないとない、といるとといるといるといなり、自然の心を社会に湿元する立とにより社会イノベーションの実現を知るのでは、社会、生物学に現れる複雑なシスを先端的な数理科学と見いいて解明した。 中本学を旧元が表現社会に表現することにより、自然の心を社会に湿元することにより社会イノベーションの実現を本で収入を力で、大きなで、大きなで、大きなが表現社会につけ、様々な知象と理学的思考を促った。域でにない数理科学と諸科学のが描述の表のを現るの下に、本事攻に、本を対した。 中本がに動することとを目的とする。のでは、クスタフェースとなって数学と諸科学の、持ず結を構造した。とと目指す現象数理学的思考及び技術をよいで対象が対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対		
ローバル化の到来など、激変する現代社会において、生涯学習をも視野に入れて、高度な教養をデザイン(創造)できる人材の養成ながら、更につび発活動を行える人材の養成を目指す。		
人和て、高度な教養をデザイン(創造)できる人材の養成を目指す。博士・ 後期聚理科学研 完科 完潔数理科学研 完科 完潔数理科学研 完科 完潔数理科学研 完科 完潔数理学専攻 信」という共通の場合の下、社会に現れる複雑な諮問題に向き合い、問題 の本質を同定する洞察力と現実的な関連解決能力を身につけ、主体的に新 分野を開拓する独別力がある人材の養成を目指す。 現象数理学専攻 指す文理融合・領域複雑なシステムを先端的な数理科学」を目 指す文理融合・領域複雑なシステムを先端的な数理科学」を目 指す文理融合・領域複雑なシステムを先端的な数理科学」を目 指す文理融合・領域複雑なシステムを先端的な数理科学」を目 指す文理融合・領域複雑なシステムを先端的な数理科学」を目 指す文理融合・領域複雑なシステムを先端のな理科学」を目 指す文理融合・領域複雑なシステムを先端のな理科学の中、人類 の福祉の向上に寄することを10的とする。 にの理念の下インタフェース となって数学を10元とすりませが、大類での一を10元を10元を10元を10元を10元を10元を10元を10元を10元を10元		たな倫理の探求を目指す。博士前期課程では、科学技術の著しい発展、グ
人和て、高度な教養をデザイン(創造)できる人材の養成を目指す。博士・ 後期課程では、博士前期課程で身につけた知識を活かしながら、更に目立 て研究活動を行える人材の養成を目指す。 完備数理科学研究科は、「社会に現れる複雑な話問題に向き合い、問題 の本質を同定する洞察力と現実的な問題解決能力をおにつけ、主体的に制 の本質を同定する洞察力と現実的な問題解決能力をおにつけ、主体的に問題 の本質を同定する洞察力と現実的な問題解決能力をおにつけ、主体的に問題 の本質を同定する洞察力と現実的な問題を決定した。 現象数理学専攻 指十文理融合・領域横種なシスを先端的な数理科学」を目 指十文理融合・領域横種なシスを先端的な数理科学」を目 指十文理融合・領域横種なシスを先端のな理科学の別談、人類 の福祉会に還元することとより社会イノペーションの実現を関か、人類 の福祉会に還元することとより社会イノペーションの実現を関か、人類 の福祉の向上に寄与することを目的とする。この理念のドインタフェースと となって政党と諸科学の掛け橋を構築する力を持つと関係的に対した諸理できる 技術を身につけた研究者で入び高度専門職業人を育成する。 「博士前期課程では、数学と諸科学の融合を目指す現象数理学後期で日と 技術を身につけた研究者で入び高度専門職業人を育成する。 「海川神神経を行いうる人材を育成方。数理科学的なアプローチを完て、不完 には、博士前期課程では、数理科学的を踏みを一つ、更に研究 となって必発展に寄与し、人の心を動かす新しい情報学の世界的な教育研究 会文化の発展に寄与し、人の心を動かす新しい情報学の世界的な教育研究 独点を目指す。 「特本行期課程では、数理科学的素養と情報科学の基礎理備とて、技術を育成で、数理科学的構物の豊かな教育を企業人人材を有成する。 「本メトワークデザインタウェスムの研究開発、企画及び人材を育成 をなって、新たな付加価値を制造する特別を介えるといる。本 タリードする研究者及び高度専門職業人を育成する。 「本、サトワークを、また、現代加価値を制造する特別を介えるとができる 教ではネットワークを、また、現代加価値を制造する特別を入び利を育成する。 「本、サトワークを、また、現代加価値を制造する特別を入び利金を育成する。 「特」前期課程では、持続可能な社会の基盤を支えるネットワークを入する。 「特」機工を可能な社会の基盤を支えるネットワ者を育成する。 「法理者の者のより、特別を行め、といいなり表のとともに、留学本の表別を指するがロマルルな人材を育成する。 「本、世界ので、対することができる所の 教でに、大きができる人材的育成を見まるとともいを見ましまの意入 の選目本学研究科では、国際的視点を持ち世界におけるとともに、留学への表が、対して、対すのに行動が表していた。 「法理者のよりを行かった人材を育成することとないできる人間を育成することが、記書を解する。 「法理者のよりを行かった人材を育でる。」とといいな知識を対することができるに対する。 「法理者のよりを行かった人材を育でる。」といいな知識を対することとないないな知識を表しまれている。 「法理者のよりを行かれているの表別を行かるとともないな知識を介えている。 「法理者のよりを行かれているの表別を行するとともないないないないないないないないないないないないないないないないないないな		ローバル化の到来など、激変する現代社会において、生涯学習をも視野に
機期課程では、博士前期課程で身につけた知識を活かしながら、更に自立して研究活動を行える人材の養成を目指す。 電力を行える人材の養成を目指す。 電力を行える人材の養成を目指す。 要素を関する数理科学の創造、展開及 D		
 生、研究活動を行える人材の養成を目指す。 た端数理科学研究科は、「社会に貢献する数理科学の創造、展開及び発信」という共通の理念の下、社会に規献も複雑な諮問題に向きらい、問題の事質所を可定する洞別がある人材の青成と見指する数理科学」を目指する契理科学専攻では、「社会に発した社会に見献する数理科学」を目指す文理融合・領域横断型の教育研究を展開しており、主体的に新知史教理学専攻では、「社会に発信し、社会に貢献する数理科学」を目指す文理融合・領域横断型の教育研究を展開することにより、自然・明し、これを社会に通元することとによりえ会、活場であって、本タフェラを目的とする。この理念の下に、本タフェースとなって数学と諸科学の掛け橋を構築する力を持つた「器ないの情報をは、「技術学の場」は、「技術学の場」は、「大学と諸科学の機会を目指す、現象数理学的思問教理学の協力技術会を構築する力を持つた「器ないる教理科学の場」は、「技術学の情報では、数学と諸科学の機会を目指す現象数理学的思問教程では、「技術学の情報では、数理科学の表験には、「技術学の場」とて研究者をは高度専門協議えつつ、更に研究者をして研究者を見いして研究者を見いして研究者を見いして研究者を関していてもないる。「博士前期課程では、数理科学的条義と情報科学の基礎を与えて、研究では、「技術学・アナイ・エンス専攻では、一大の心を動かすがい情報学の世界的な教育研究を関して情報メディインタフェースを与えて、研究を関して情報システムを自体にブインインタフェースの研究を下げ、インする、「博士・古研究者を関した情報メディインタステムの研究で、「情報メディアの先端でも、まり、「中学教育教育学院者を対した情報を育成する。」では、大学の大阪はために通知を有いな、大学、アントワークを、工学のな視点から運用、様々なが開発しているを育成である。「博士を新期課程では、高い独創性を兼ねがで時代とともに変遷しているとり、で、オントワークを、大学のな視点から運用、様々なが開発していることができる人がであることができる人がであることができるが、また、エ・ス・ア・ア・ス・ア・ア・ス・ア・ス・ア・ス・ア・ス・ア・ス・ア・ス・ア・ス・		
先端数理科学研究科社、「社会に貢献する数理科学の創造、展開及び発 信」という共通の理念の下、社会に現れる数理科学の創造、展開及び発 現象数理学専攻 現象数理学専攻 現象数理学専攻 現象数理学専攻 現象数理学専攻 現象数理学専攻 現象数理学専攻 関連など表に発信とに発信した公会に高いる数理科学」を目 指す文理融合・領域核断型の教育研究を展開することにより、と社会に 会、生物等に現れる複雑なシステムを先端的な型科学の実現を取中、区 の福祉体の向上に需手与することによりもとする。 となっ有り事要と皆科学の構造を参考いつけ、多文現をと明し、類 の福祉体の向上に需手学の書けを参考につけ、後々な現象とのインターフに となって有数学と諸科学の構造を参考中の社の表と関係的に活躍 技術を身につけた研究者文は高度専門職業人を育成する。博士後期課目 して研究活動を行イア・イエンス専攻を物面と対象、理学的思議を 技術を身につけた研究者文は高度専門職業人を育成する。 地工前期課程では、表型と感や面白力を等のとの一、メーセ 完工を対象を目指す、数理程学的を対象を関係的に活躍を 大石なの発展に需要し、人に減足感や面白を を文化の発展に需要し、人に適足感や面やの世界的な数理学的思議を 技術を身につけた研究者文は高度専門職業人を育成する。 大個光天術を実現し、人に減足感や面がまままままままままままままままままままままままままままままままままままま		後期課程では、博士前期課程で身につけた知識を活かしながら、更に自立
先端数理科学研究科は、「社会に貢献する数理科学の創造、展開及び発 (言)という共通の理念の下、社会に現れる機能力を身につけ、大体的に新 類象数理学専攻 現象数理学専攻 現象数理学専攻 現象数理学専攻 現象数理学専攻 (国)という共通の理念の下、社会に現信を自力では、は、体的に新 対野を財理や事な側力がある会に発信したとに発信した。 (国)という共通の理念の下、社会に現情を力を力を表して解り、 (国)という共通のでは、「型の教育研究を展開する数理科学」を目 指す文理融合・領域を複なシステムを先端的な思科学を用い図の中 の本価社和向上に書手することとと場りのとする。なな現象とのインターのなは、本 とないで「数学と諸科学の財産を書解した。」をいる。中立、は ななの音が関連程では、大力を持つた国型のの下に、本タフ理ととなってが数学と諸科学の構造を書様として、本 技術を身に可けた研究者文は高度専門職業人を育成する。中で先端、大社 大力の育成事とでは、大力を持つた国で、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、		して研究活動を行える人材の養成を目指す
(日) という共通の理念の下、社会に現れる複雑な諸問題に向き合い、問題の本質を同定する洞察力と現実的な問題解決能力を身につけ、主体的に新分野を開格する独創力がある人材の育成を自指で、現象数理学専攻では、社会に発信し、社会に貢献する数理科学」を目指す変理融合・解域横断型の安育研究を展開することにより自然、社会、生物等に現れる複雑なシステムを先端的な数理科学を用いて解明し、同底で幅成い数理科学の母が情報を構築することでは、自然では、高度で幅成い数理科学の母が情報を構築することをよりを持ている。高度で幅成い数理科学の母が情報を構築する力を持つたる。博士前期課程では、教理を自的をとしての理念の下に、本中の主国際的に活躍なって育功を構造するととも自的とする。博士の書物理に関係で表文は高度専門職業えつので、現実の書の書の書の書の書の書の書の書の書の書の書の書の書の書の書の書の書の書の書	生 岩 米 田 到 冶 五	
の本質を同定する洞察力と現実的な問題解決能力を身につけ、主体的に新力を開拓する独創力がある人材を向肩成を目指す。数理科学」を目指す文理融合・領域機能型の教育研究を展開することにより、自然、社会、生物等に現力な複雑なシステムを先端的な数理科学」を目指す文理融合・領域機能型の教育研究を展開することにより、自然、社会、生物等に現力を複雑なシステムを先端的な数理科学の実現を図り、人にこれを社会に還元することにより、社会イノベーショ鬼会の不に人事の信権に加入数理科学の表ととなり、自然、社会、生物等に現力を背景が、社会、生物等に現力をといるととも、この理象とのインタフェースとなって被学と諸科学の掛け橋を構築する力を持つた「活躍、大材の育成事目作は、数学と諸科学の融合を目指す、実力である。関係を身につけた研究者として研究活動を見つけた研究者とは、博力・対理課程では、数理科学のと関係を身につけた研究者として研究活動を見いつけたの研究者とは、大は、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、	/ - ···/// - · · ·	
受野を開拓する独創力がある人材の育成を目指す。 現象数理学専攻では、「社会に発信し、社会に貢献する数理科学」を目指す文理融合・領域横断型の教育研究を展開することにより和した。 生物等に現れる複雑なシステムを先端的な数理科学を用いて解明し、類の福祉の向上に選高度で幅広い数理科学を目的とかった。この理念の下に、カタフェーさるととを目的とつうで、様々な理なとにより社会インの、ショウンの実現を図り、攻にでないて数学と指す。 「関で幅広い数理科学の兼持科学の掛情を持つの一般では、時ず前期課程では、数学と諸科学の融強をとので、関して研究者とは、博士前期課程では、数理科学の基準等の世界的な教育のでは、技術を確認をなり、「特別な研究を表現をでは、大のでには、数理科学の基準をでは、代の変更にないの方式を対していている。博士後期課程では、数理科学の表で形態で時代とともに変遷している。博士後期課程では、対の原理・財子の方式を対していてきるとのでは、対の方式を対していてきる。「博士後期課程では、特別なの主持の方式を対していている人材を育成する。「博士後期課では、特別なの主持の方式を対していている」とに活躍するグ学研究、対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対	光科	
受野を開拓する独創力がある人材の育成を目指す。 現象数理学専攻では、「社会に発信し、社会に貢献する数理科学」を目指す文理融合・領域横断型の教育研究を展開することにより和した。 生物等に現れる複雑なシステムを先端的な数理科学を用いて解明し、類の福祉の向上に選高度で幅広い数理科学を目的とかった。この理念の下に、カタフェーさるととを目的とつうで、様々な理なとにより社会インの、ショウンの実現を図り、攻にでないて数学と指す。 「関で幅広い数理科学の兼持科学の掛情を持つの一般では、時ず前期課程では、数学と諸科学の融強をとので、関して研究者とは、博士前期課程では、数理科学の基準等の世界的な教育のでは、技術を確認をなり、「特別な研究を表現をでは、大のでには、数理科学の基準をでは、代の変更にないの方式を対していている。博士後期課程では、数理科学の表で形態で時代とともに変遷している。博士後期課程では、対の原理・財子の方式を対していてきるとのでは、対の方式を対していてきる。「博士後期課程では、特別なの主持の方式を対していている人材を育成する。「博士後期課では、特別なの主持の方式を対していている」とに活躍するグ学研究、対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対		の本質を同定する洞察力と現実的な問題解決能力を身につけ、主体的に新
現象数理学専攻では、「社会に発信し、社会に貢献する数理科学」を目指す文理融合・領域機断型の教育研究を展開することにより、自然に支机を社会に還元することにより、社会イグペーションの実現を図り、人類の福祉の向上に寄与することを目的とする。この理念の下に、本専攻は、 高度で幅広い数理科学的掛け橋を構築する力を持った。 西理念のの下に、本専攻は、 高度で幅広い数理科学的掛け橋を構築する力を持った。 西理念のの下に、本専攻は、 となって数学と諸科学の掛け橋を構築する力を持った国際的に活躍では、 博士前期課程では、第者又は高度専門職業えの一手で先端でインで著文は「大学で表別をできる技術を身につけたのうる人材を育成する。 た端メディアサイエンス専攻 だって 大型 で 大変		分野を関拓する独創力がある人材の育成を目指す
指す文理融合・領域機解型の教育の主要、展開することにより、自然、社会、生物等に現れる複雑なシステムを先端的な数理科学を更り、人類の福祉の向上に製売することにを目のとする。大変社会に製売することにを目のとする。大変社会に製売することにを目のとする。大変社会に製売することを発力で、大変となり、大力の音成を主事、要して、大力の音成を主事、要して、大力の音成を自指す。 「博士前期課程では、数学と諸科学の融合を目指すする。博士後期に対して、大学を育成する。「博士前期課程の人材養成の目的を踏まえつつ、更に研究者として研究活動を行いうる人材を育成する。「東生後期との大力を存す的な要別では、「東土前期課程で人人材養成の目的を踏まえつつ、更に研究者として研究活動を行いうる人材を育成する。「東生後期との人材を育成する。「東生後期となっての発展に、大学で大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大	羽色粉细兴市坊	
会、生物等に現れる複雑なシステムを先端の本数理科学を用いて解明し、これを社会に選元することを目的とする。この理念の下に、高度で幅広い数理科学的素養を身につけ、様々な現象とのインタフェースとなって数学と諸科学の掛け橋を構築する力を持った国際的に活躍できる人材の育成を目指す。 博士前期課程では、数学と諸科学の融合を目指す現象数理学的思考として研究者又は高度専門酪業人を育成する。 博士前期課程では、数学と諸科学の融合を目指す現象数理学的思考として研究者又は高度専門酪業人を育成する。 博士者として研究者又は高度専門酪業人を育成する。 博士者として研究者以は高度時の時期に、数理科学的な力で、更に研究者又は同時を対して研究者を自体に対して研究者を自体に対して研究者を自体に対して研究者を関していた。 東大海・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・	党家 数连子导攻	
これを社会に還元することにより社会イノベーションの実現を図り、人類の福祉の向上に寄与することを自的とする。この理念の下に、本専攻は、高度で幅広い数理科学的素養を身につけ、様々な現象とのインタフェーさるとなって教学と諸科学の掛け橋を構築する力を持った国際的に活躍できる人材の育成を目指す。数学と諸科学の融合を目指す現象数理学的思考及でも技術を身につけた研究者又は高度専門職業人を育成する。博士後期課程では、数学と諸科学の融合を目指す現象数理学的思考及では、博士施力を持ている人材養の自的を踏まえつつ、更に研究者として自立して研究活動を行いうる人材をの育成する。「大端メディアサイエンス専攻では、数理科学的なアプローチで先端メディアカイエンス専攻では、大力の音楽を多な教育・大人に向立を動かす新しい情報学の世界的な文化の発展に寄与し、人に向立を動かす新しい情報学の世界的な教徒を目指す。「博士前期課程では、数理科学的素養と情報科学の世界的なな情報を有力といる人材を育成する。大人の心を動かす新しい情報学の世界的なな教育をは、他や心理を考慮した情報メディアシステムの研究開発・企画のとび構築を可力する。「大端者並びにとューマンイ制性を表えて、情報力である。大人の音成が高速を力としている人材を育成する。本ットワークデザイン専攻では、「大学をが表した。」「大学を対している人材を育成する。本ットワークをより、新たな付加価値を創造する特性シューザ満足度、ジネットワークを、表がは一般が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表		指す文理融合・領域横断型の教育研究を展開することにより、目然、社
これを社会に還元することにより社会イノベーションの実現を図り、人類の福祉の向上に寄与することを自的とする。この理念の下に、本専攻は、高度で幅広い数理科学的素養を身につけ、様々な現象とのインタフェーさるとなって教学と諸科学の掛け橋を構築する力を持った国際的に活躍できる人材の育成を目指す。数学と諸科学の融合を目指す現象数理学的思考及でも技術を身につけた研究者又は高度専門職業人を育成する。博士後期課程では、数学と諸科学の融合を目指す現象数理学的思考及では、博士施力を持ている人材養の自的を踏まえつつ、更に研究者として自立して研究活動を行いうる人材をの育成する。「大端メディアサイエンス専攻では、数理科学的なアプローチで先端メディアカイエンス専攻では、大力の音楽を多な教育・大人に向立を動かす新しい情報学の世界的な文化の発展に寄与し、人に向立を動かす新しい情報学の世界的な教徒を目指す。「博士前期課程では、数理科学的素養と情報科学の世界的なな情報を有力といる人材を育成する。大人の心を動かす新しい情報学の世界的なな教育をは、他や心理を考慮した情報メディアシステムの研究開発・企画のとび構築を可力する。「大端者並びにとューマンイ制性を表えて、情報力である。大人の音成が高速を力としている人材を育成する。本ットワークデザイン専攻では、「大学をが表した。」「大学を対している人材を育成する。本ットワークをより、新たな付加価値を創造する特性シューザ満足度、ジネットワークを、表がは一般が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表		会、生物等に現れる複雑なシステムを先端的な数理科学を用いて解明し、
の福祉の向上に寄与することを目的とする。この理念の下に、本専攻は、高度で幅広い数理科学的素養を身につけ、様々な現象とのインタフェできる人材の育成を目指す。 博士前期課程では、数学と諸科学の融合を目指す現象 数理学的思考及び技術を身につけた研究者又は高度専門職業人を育成する。 博士後期課程の人材養育成す目指す現象を理学後期課程の上で研究五事攻では、博士前期課程の人材養育成する。 東京学校明課程立して研究五事攻では、恵自的を持った人材を育成する。 大先端メディアサイエンス専攻では、海中子の大変展に寄与し、人に高足感や面す新しい情報学の世界的な教育研究を目指す。 博士前期課程では、数理科学的な事がの世界的な教育研究を直指す。 東古前期課程では、数理科学的表養と情報科学の基礎理論を身につけ、多様な情報システムを自在にブログラミング研究第ザインの人材を育成する。 東古前期課程では、数理科学的素養と情報科学の基礎理論を身につけ、多様な情報システムを自在にブログラミング研究第ザインの人材を育成する方。 「日本後期課程では、数理科学的素養と情報科学の基礎理論を身につけ、多様な情報システムを自在にブログラミング研究第ザインの人材を育成する方。「「日本後期課程では、本の中の研究を表する人材を育成する」をリードする研究者及び高度専門職業人を育成することができる方は、主体をの表現されていた。 「東古が規則程では、持た会によいてネットワークにおけることができる。素たな付加価値を創造する中の人とともに変遷していくネットワークを、また、現代社会においてネットワークと及方の大が自然のも、本でジネットワークを持つま物で行る。を専びではネットワークにおける中があるととによずの大が大きの大が大きの表別を持ちまた。「東古が規則を行う高度な専門力を持ているといが表しまない、大き行の表別を目前を表していく。 東古は別課程では、上は内を育成するとともに、留学生のアンンの研究、多なに対していく。 東古は別様のでの大きを育成するとももに、留いないとは関係のでの大きの表別を目前を表していいく。 東古は別様のでの大きを持ていいく。 東古は別様のでの大きを持ていいく。 東古は別様ので、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大き		
高度で幅広い数型科学的素養を身につけ、様々な現象との不クタフェースとなって数学と諸科学の掛け橋を構築する力を持った国際的に活躍できる人材の育成を目指す。 博士前期課程では、数学と諸科学の融合を目指す現象数理学的思考及では、特工前期課程では、数理人を育成する。博士後期課程の人材表で育成する。 世士後期課程の人材表で育成する。 世士後期課程の人材表で育成する。 世士後期課程の人材表で育成する。 世士後期課程では、大学、アプリー・デで先端、社会文化の発展に寄与し、人の心を動かす新しい情報学の世界的な教育研究 地点を目指す。 世本信報教学では、数理科学的な事的の世界的な教育研究 地点を目前期課程では、数理科学的素養と情報科学の基礎理論を身につけ、多様な情報システムを自在にプログラミングできる技術を偏えび、株築を目前期課程では、数理科学的素養と情報科学の基礎理論を身につけ、多様な情報システムを自在にプログラミングできる技術を偏えな、構築を有限する。 神士後期課程では、数理科学的素養と情報科学の基礎理論を身につけ、多様な情報システムを自在にプログラテムの研究開発、企画及び構築を有して行る。 博士後期課程では、海中側職業後々な形態で時代とともに変遷していきる人材を育成する。 表生、現代加価値を制造する特性があることがのら、本学ジネットワークデザイン専攻では、接近とおいておるよりにおけることがのも、本学、ス・モデ朗課をでは、主体体的を創造する特性があることがあら、本学ジネスモデ前規課程では、主体体的に新立る。 博士後期課程では、主体体的に新立る。 博士後期課程では、主体体的で新立る。 博士後期課程では、主体体的で新立る。 国際日本学研究科では、国際的現まを考していた会の表ともお、留家上の企業では、表現するとともがで、教育のでは、表現するとともがで、との変別、国際日本学の国際的拠点となるより研究活動の展開を図っていく。 国際日本学専攻では、ボップカルチャー研究、企業・メディア・コンデンツ研究、多文化共生、異文化間教育研究、日本語学・中の究科が国際日本学専攻では、ボッブカルチャー研究、企業・メディア・コンデンツ研究、多文化共生、異文化間教育研究、日本語学・日本領域をわが、国際日本学専攻では、ボッブカルチャー研究、企業・メディア・コンデンツ研究、多文化共生、異文化間教育研究、日本語学・日本領域をわが、「世末報報、表別報の展別を記述を開きるといいく、英語教育学研究、文正、思述の表別を記述を表別を表別を記述を表別を表別を記述を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を		
となって数学と諸科学の掛け橋を構築する力を持った国際的に活躍できる人材の育成を目指す。 博士前期課程では、数学と諸科学の融合を目指す現象数理学的思考及び技術を身につけた研究者又は高度専門職業人を育成する。博士後期課程のは、博士前期課程では、教学と諸科学の融合を目指す現象数理学的思考及では、博士前期課程では、教養人材を育成する。 先端メディアサイエンス専攻では、数理科学的なアプローチで先端メディアサイエンス専攻では、大の心を動かす新しい情報学の世界的な教育研究と目指す。 「博士前期課程では、数理科学的素養と情報科学の基礎理論を身につけ、多様な信報がとこれで、人の心を動かす新しい情報学の世界的な教育研究地点を目指す。 「博士前期課程では、数理科学的素養と情報科学の基礎理論を身につけ、多様な理解学を対した情報メディアシステムの研究開発・値方と、人の心を動かす新しい情報学の世界のな教育研究・担点を目指では、数理科学の基礎理論を身につけ、多様な理論を対した情報メディアンスースを選手が必要がある。「特別課程をでは、教理科学の基礎理論を身に、人の感覚した情報メディアの先端をリードする研究者及で高度専門が表現代とともに変変遷していまる。サードする研究者のでは、「情報メディアの先端をリードする研究者のでは、「情報メディアの先端をリードするでは、「大の事理、様々な形態で時代とともに変変遷している人材を育成する。まれの対した。「大の表別においての表別においての表別に対して分析が返れました。」では表別の表別に対して分析が必要があることがである。「本の記に対して分析が記を持った。」では、大の表別は、大の表別に対していた。「対していた」とが、大の表別に対していた。「対していた」とが、大の表別に対していた。「対していた」とが、大の表別に対していた。「対していた」とが、大の表別に対していた。「対していた」とが、大の表別に対していた。「対していた」とが、大の表別に対していた。「対していた」とが、大の表別に対していた。「対していた」という、大の表別に対していた。「対していた」という、大の表別に対していた。「対していた」というに対していた。「対していた」といいが、対していた。「対していた」といいが、対していた。「対していた」といい、対していた。「対していた」といいが、対していた。「対していた」といい、対していた。「対していた」といい、対していた。「対していた」といい、対していた。「対していた」といい、対していた。「対していた」といい、対していた。「対していた」といい、対していた。「対していた」といいていていた。「対していた」といいないでは、対していいない、対していたっに対していた。「対していた」といい、対していた。「対していた」といい、対していた。「対していた」といい、対していた。「対していた」といい、対していいない、対しい、対していいない、対していいないが、対していいないが、対しないないないないは、対していいないない、対しないないないないない、対しないないないないないないないないないないないないないないないないないないない		
人材の育成を目指す。 博士前期課程では、数学と諸科学の融合を目指す現象数理学的思考及び技術を身につけた研究者又は高度専門職業人を育成する。博士後期課程では、博士前期課程の人材養成の目的を踏まえつつ、更に研究者として研究活動を行いうる人材を育成する。 先端メディアサイエンス専攻では、数理科学的なアプローチで先端メイエンス専攻では、数理科学的なアプローチで先端メイエンス専攻では、数理科学的なアプローチで先端メースで投稿を実現し、人に満足感や面白さ等の精神的豊かさを与えて、社会文化の発展に寄与し、人の心を動かす新しい情報学の世界的な教育研究地点を目指す。 「博士前期課程では、数理科学的素養と情報科学の基礎理論を身につけ、多様な情報システムを自在にプログラミングできる技術を備えて、人の感性や心理を考慮した情報メディアシステムの研究開発、企画及び構築を行う1 T 技術者並びにヒューマンインタフェムの研究開発、企画及び構築を方はする。博士後期課程では、高度専門職業人を育成する。イアの先端をリードする研究者及び高度専門職業人を育成することができる人材を育成する。また、現代社会を形態で時代とともに変変していき、オットワークデザイン専攻「ステークを、工きかな付カニーザ論を担けていまないまが、カークを、またな付カニーザ論を関係があることができる人材を育成する。また、現所の付きの材を指する独自のできまった。大材を育成する。博士後期課程では、持続可なおよりを持った視野のよとから表示という考えに立即と行う高度な専門的を育なある。「大きなりに活躍するがローバルな人材を育成する。」という考えに立即とできる人材を育成することが重点の意とともに、留際日本学研究といいまなも目指する独自の意とともになりに活躍するが国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく、その認識に基現することがで洗しまなを目指するまともに、留学生の実解し、表現することがで洗しまなまりで洗しまなまりが、国際日本学研究、文化を目標研究といった発展では、またが、対しまないまなまり、大力に表現するで、大力ルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生、異文化間教育研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生、異文化間教育研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生、異文化間教育研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生、表現で活動が表現する。「本語学の子の発育を明明を対する。」といいまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな		高度で幅広い数理科学的素養を身につけ、様々な現象とのインタフェース
人材の育成を目指す。 博士前期課程では、数学と諸科学の融合を目指す現象数理学的思考及び技術を身につけた研究者又は高度専門職業人を育成する。博士後期課程では、博士前期課程の人材養成の目的を踏まえつつ、更に研究者として研究活動を行いうる人材を育成する。 先端メディアサイエンス専攻では、数理科学的なアプローチで先端メイエンス専攻では、数理科学的なアプローチで先端メイエンス専攻では、数理科学的なアプローチで先端メースで投稿を実現し、人に満足感や面白さ等の精神的豊かさを与えて、社会文化の発展に寄与し、人の心を動かす新しい情報学の世界的な教育研究地点を目指す。 「博士前期課程では、数理科学的素養と情報科学の基礎理論を身につけ、多様な情報システムを自在にプログラミングできる技術を備えて、人の感性や心理を考慮した情報メディアシステムの研究開発、企画及び構築を行う1 T 技術者並びにヒューマンインタフェムの研究開発、企画及び構築を方はする。博士後期課程では、高度専門職業人を育成する。イアの先端をリードする研究者及び高度専門職業人を育成することができる人材を育成する。また、現代社会を形態で時代とともに変変していき、オットワークデザイン専攻「ステークを、工きかな付カニーザ論を担けていまないまが、カークを、またな付カニーザ論を関係があることができる人材を育成する。また、現所の付きの材を指する独自のできまった。大材を育成する。博士後期課程では、持続可なおよりを持った視野のよとから表示という考えに立即と行う高度な専門的を育なある。「大きなりに活躍するがローバルな人材を育成する。」という考えに立即とできる人材を育成することが重点の意とともに、留際日本学研究といいまなも目指する独自の意とともになりに活躍するが国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく、その認識に基現することがで洗しまなを目指するまともに、留学生の実解し、表現することがで洗しまなまりで洗しまなまりが、国際日本学研究、文化を目標研究といった発展では、またが、対しまないまなまり、大力に表現するで、大力ルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生、異文化間教育研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生、異文化間教育研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生、異文化間教育研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生、表現で活動が表現する。「本語学の子の発育を明明を対する。」といいまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな		とかって数学と諸科学の掛け橋を構築する力を持った国際的に活躍できる
博士前期課程では、数学と諸科学の融合を目指す現象数理学的思考程では、特生前期課程の人材を育成する。博士後期課程でして研究者又は高度専門職業人を育成する。博士後期課程でして研究活動を行いうる人材を育成する。博士後期課程でして研究活動を行いうる人材を育成する。「佐端メディアサイエンス専攻では、数理科学的なアプローチで先端メディアサイエンス専攻では、数理科学の世界的なな育研究を文化の発展に寄与し、人に心を動かす新しい情報学の世界的なな育研究を実現し、人に心を動かす新しい情報学の世界的なな育研究を実現して、数理科学の素養と情報科学の基礎理論を身につけ、多様な情報システムを自在にプログラミングできる技術を備えて、人の感性や心理を考慮した情報メディアシステムの研究開発、企画及び構築を方して、対する、博士前期課程では、数理科学的素養と情報科学の基礎理論を身につけ、多様な情報システムを自在にプログラミングできる技術を備えて、人の感性や心理を考慮した情報メディアシステムの研究開発、企画及び構築を方して、する、博士の力を対して、高い独創性を兼和成する。「本ットワークデオーン専攻では、「様々な形態で時代とともに変として、ネットワークデオーン専攻では、成な形態で時代とともに変としていきる人材を育成する。「本ットワークデオーン専攻では、様々な形態で時代とともに変としていきる人材を育成する。「神士前期課程では、持続度なおにおいて来ットワークシステムの選別課程では、持続度な時間力を特における日本を変と認識となるようが国際日本学研究社会の持ち世界育成する国際的な視点に合うの情報を行う高度体の社会の表盤を対していた。「大きによりのでは、大力の手にないを対していた。」という考えば、国際日本学研究社会、国際日本学研究社会、という考えば、国際日本学研究をの育成を目指す。また、留学本研究社会の文をの育成を目指す。また、留際日本学専攻では、ボッブカルチャ研究、企業・メディア・コシテンツ研究、多文化共生、実文化間想の対象が基層を図っていく。 国際日本学専攻では、ボッブカルチャ研究、企業・メディア・コシテンツ研究、多文化共生、実文化間をので流を活発に行い、、近に対している。「大きな事情を関すを対している。」というないのでは、ボッブカルチャ研究、企業・メディア・コシテンツ研究、タン化共生、東文化間ないので活動の展別を対している。「国際日本学専攻では、ボッブカルチャ研究、企業・メディア・コシテンツ研究、多文化大きでは、ボッブカルチャ研究、企業・メディーする。「特工後期課程では、そうした幅広い、現野と高度な専門的知識を力が一する。「博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日本学専攻、大きでは、それぞれの研究分野のの異なる深化を図り、国際日本学専攻、大きを表が、文化・思想研究といった幅広、な専門的知識を力が、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで		
技術を身につけた研究者 文は高度専門職業人を育成する。博士後期課程では、博士前期課程の人材養成の目的を踏まえつつ、更に研究者として自立して研究活動を行いうる人材を育成する。 先端メディアサイエンス専攻では、数理科学的なアプローチで先端メディアサイエンス専攻では、数理科学的なアプローチで先端メディア技術を実現し、人に満足感や面白さ等の精神的豊かさを与えて、社会文化の発展に寄し、人の心を動かす新しい情報学の世界的な教育研究拠点を目指す。 博士前期課程では、数理科学的素養と情報科学の基礎理論を身につけ、多様な情報システムを自在にプログラミングできる技術を備えて、人の感行う「IT技術者並びにヒューマンインタフェースをデザインの表域と特権を有力する。博士後期課程では、高度専門職業人を育成する。 本ットワークデザイン専攻では、高度専門職業人を育成する。ネットワークに対ける国際自一の大学がエン専攻では、様々な形態で時代とともに変遷していくネットワークを、また、現代社会において入り中ノルなものを繋ぐことによって、新たな付加価値を創造するを特によって、新さな付加価値を創造するとともに変速している。大材を育成する。また、現代社会において入り中ノルなのものを繋ぐことによりアークにおけるユーザの材を育てる。博士後期課程では、持続可能な社会の基盤を支えるネットワークシステムの運用及び解析するには、持続可能な社会の表替でして、技術を育成するとともに、自学生の関連日を明課を対し、日本の文化及び社会システムを理解し、異文化及び多様な社会システムを理解するとともに、自学生の受入れ、送出しをの認識に基づき的確に行動できる人間を育成することが重要でも簡確に表するととができる所究にあるとともに、自学生の受入れ、送出しをの認識に基づき的確に行動できる人間を育成することが重要でも対し、という考えに立りと称できる人間を育成を持ちに発していく。 国際日本学専攻では、ボッブカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間研究といった幅広い研究領域をカイする。博士前期課程では、スカルチャー研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、文化・思想研究といった幅広い研究領域をカイすする。博士前期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日本学専攻、英語教育学研究、文化・思想研究といった幅広い研究領域をカイーする。博士前期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日本学専攻、大語教育学研究、大記録研究といった幅広い研究領域をカイーする。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日本学専攻、大記録に関いに活躍しらる社会人の養成し、研究者に限らず国際的に活躍しらる社会人の養成し、研究者に限いで活躍のたるに対していていていていていていていていていていていていていていていていていていてい		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
は、博士前期課程の人材養成の目的を踏まえつつ、更に研究者として自立して研究活動を行いうる人材を育成する。 先端メディアサイエンス専攻では、数理科学的なアプローチで先端メディアサイエンス専攻では、数理科学的なアプローチで先端メディア技術を実現し、人に満足感や面白さ等の精神的豊かさを与えて、社会文化の発展に寄与し、人の心を動かす新しい情報学の世界的な教育研究拠点を目指す。 博士前期課程では、数理科学的素養と情報科学の基礎理論を身につけ、多様な情報システムを自在にプログラミングできる技術を備えて、人の感性や心理を考慮した情報メディアシステムの研究開発、企画及び構築を行うIT技術者並にヒューマンインタフェースを画及び構築を行うIT技術者がにヒューマンインタフェースを通り大材を育成する。博士後期課程では、高い独創性を兼ね備えて、情報メディアの先端をリードする研究者及び高度専門職業人を育成する。というで光ットワークデザイン専攻では、様々な形態で時代とともに変遷していくネットワークデザイン専攻では、様々な形態で時代とともに変遷していくネットワークデザイン専攻では、おかではから変遷していくネットワークにおけるユーザの行動パターン、ユーザ満足度、ビジネスモデルに対して分析力を持った人材を育成する。博士後期課程では、持続可能な社会の基盤を支えるネットワークシステムの運用及び計画を行う高度な専門力を持った視野の広い技術者を育成する。博士後期課程では、主体的に新分野を開拓する独創力があり、国際日本学研究科では、国際的視点を持ち世界における日本を深く認識し、その認識に基づきの角に変が表表しまの研究を開拓する独創力があり、国際日本学研究科が国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。		┃ 博士前期課程では、数学と諸科学の融合を目指す現象数理学的思考及び ┃
は、博士前期課程の人材養成の目的を踏まえつつ、更に研究者として自立して研究活動を行いうる人材を育成する。 先端メディアサイエンス専攻では、数理科学的なアプローチで先端メディアサイエンス専攻では、数理科学的なアプローチで先端メディアサイエンス専攻では、数理科学的なアプローチで先端メディア技術を実現し、人に満足感や面白き等の精神的豊かさを与えて、社会文化の発展に寄与し、人の心を動かす新しい情報学の世界的な教育研究拠点を目指す。 「博士前期課程では、数理科学的素養と情報科学の基礎理論を身につけ、多様な情報システムを自在にプログラミング研究開発、企画及び構築を行うIT技術者並にヒューマンインタフェースを画及び構築を行うIT技術者がにヒューマル・独創性を兼ね備えて、、情報メディアの先端をリードする研究者及び高度専門職業人を育成する。「博士後期課程では、稼々な形態画及び解析するよとがのを繋ぐことによりアークがデザイン専攻では、様々な形態画及び解析するととができる人材を育成する。また、現代社会においてネットワークデザイン専攻では、対かを育成する。という考えによりロークが助がターン、ユーザ満足度、ビジネスモデルに対して分析力を持った人材を育成する。「博士後期課程では、持続可能な社会の基盤を支えるネットワークシステムの運用及び計画を行う高度な専門力を持った視野の広い技術者を育成する。「博士後期課程では、主体的に新分野を開拓する独創力があり、国際日本学研究科では、国際的視点を持ち世界における日本を深く認識という考えに立即し、日本の記録に基づきの自然を対し、日本に、自然のでは、対のでは、対のでは、対のでは、対のでは、対のでは、対のでは、対のでは、対		技術を身につけた研究者又は高度専門職業人を育成する。博士後期課程で
 た端メディアサイエンス専攻では、数理科学的なアプローチで先端メディアサイエンス専攻では、数理科学のはアプローチで先端メディア技術を実現し、人に満足感や面白さ等の精神的豊かさを与えて、社会文化の発展に寄与し、人の心を動かす新しい情報学の世界的な教育研究拠点を目指す。 博士前期課程では、数理科学的素養と情報科学の基礎理論を身につけ、多様な情報システムを自在にプログラミングできる技術を備えて、人の感性や心理を考慮した情報メディアシステムの研究開発、企画及び構築を行うIT技術者並びにヒューマンインタフェースをデザインする人材を育成する。博士後期課程では、高度専門職業人を育成する、ネットワークデザイン専攻で高度専門職業人を育成することが重とがの先端をリードする研究者及び高度専門職業人を育成することがものを繋ぐことによって、新たな付加価値を創造する特性があることがものも事及ではネットワークを、工学的な視点から運用、計画及び解析することがものを繋ぐことによって、新たな付加価値を創造する特性があることがものも専攻ではネットワークに対けるユーザの行動パタてる。博士前期課程では、主体的に新分野を開拓する独創力があり、国際日本学研究科では、国際的視点を持ち世界における日本を深く認識し、その認識に基づきりは、主体的に新分野を開拓する組制力があり、活躍するグローバルな人材を育成する。というえに立脚し、日本の文化及び社会システムを国際的な視点に立ちる。博士後期課程では、主体的に新分野を開拓するとともに、自らの意思との確に表現するとと称できる人材の育成を目指を完成し、自然な社会との表えに立りとができる人材の育成を目指を活発に行い、本研究科が国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。 国際日本学専攻では、ボップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、と、東語教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、と、東語教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学程では、ボップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、と、東語教育学研究、と、東語教育学研究、と、東語教育学研究、と、東語教育学研究、と、東語教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、と、東語教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、と、東語教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、と、東語教育学研究、と、東語教育学研究、と、東語教育研究、日本語学・日本語教育学研究、方、東語教育学研究、と、東語教育研究、日本語学・日本語学・日本語学・日本語学・日本語学・日本語学・日本語学・日本語学・		
先端メディアサイエンス専攻では、数型科学的なアプローチで先端メディアサイエンス専攻では、数自さ等の精神的豊かさを与えて、社会文化の発展に高与し、人の心を動かす新しい情報学の世界的な教育研究拠点を目指す。 博士前期課程では、数理科学的素養と情報科学の基礎理論を身につけ、感性や心理を考慮した情報メディアシステムの研究開発、企する人材を育成でもも技術を施力でする。博士後期課程では、高に専門職業人を育成で時代とともに変遷している。博士後期課程では、高に専門職業人を有成で時代とともに変遷している。博士後期課程では、高に専門職業人を有成で時代とともに変遷している人材を育成する。 おっトワークデザイン専攻 スットワークを、現代社会においてネットワークを必要ではといって、新たな付加価値を制造する特性があることがでる人材を育成する。また、現付加価値を制造する特性があることがである。また、現付加価値を制造する特性があることがである。オスモデルに対して分析力を持った人材を育成ない技術者を育成では、対対して分析力を持った人材を育る。 博士後期課程では、持続可能な社会の基盤を支えるネットワークシステムの運用及び計画を行う高度な事門力が表り、国際日本学研究科では、国際的視点を持ち世界におけるという考えに立即し、日本の記職に基づき日本が重要でおな人材を育成する。という考えに立即し、日本の主要を対していた人材を育成する。という考えに立即し、多様な社会システムを国際的な視点にの意という考えにでいる。関係日本学の政化は、当のできる人材の育成を表とともに、留学生の受利れ、送出しを含め国際的拠点となるよう研究流を発に行い、本というで表に立即となるとなるよう研究で表別で、多ず研究、多ず研究、という表別の展別を必要していた。 国際日本学専攻では、ボップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文活を対し、ボップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多で研究、大の音が表別となるよう研究にも指定していた。 と、表別を表述し、ボップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多で研究、大の音が表別で、表別で、表別で、表別で、表別で、表別で、表別で、表別で、表別で、表別で、		
「イエンス専攻」ディア技術を実現し、人に満足感や面白さ等の精神的豊かさを与えて、社会文化の発展に寄与し、人の心を動かす新しい情報学の世界的な教育研究拠点を目指す。 関本前期課程では、数理科学的素養と情報科学の基礎理論を身につけ、多様な情報システムを自在にプログラミングできる技術を備えて、大変様な情報システムを自在にプログラミングできる技術を備えて、大変様な情報システムを自在にプログラミングできる技術を備えて、大変様な情報システムを自在にプログラミングできる技術を備えて、大変様な情報システムを自在にプログラミングできる技術を備えて、大変様な情報システムを自在にプログラミングできる技術を備えて、大変様な情報システムを可要を行うIT技術者並びにヒューマンインタフェスをデザインする。博士後期課程では、高序専門職業人を育成する。 アリードする研究者及び高度専門職業人を育成する。 フリードする研究者及び高度専門職業人を育成する。 をリードする研究者及び高度専門職業人を育成する。 をリードする研究者及び高度専門職業人を育成する。といてきる人材を育成する。また、現代社会においてネットワークに対しての行動パラクーン、ユーザ満足度、ビジネスモデルに対して分析力を持った人材を重なともも、ビジネスモデルに対して分析力を持った人材を重なといも情報に表するでは、主体的に新分ターン、ユーザ満足度、ビジネスモデルに対して分析力を持った人材を重ななりまる。博士前期課程では、上体を育成すると表して海外の教育の主を目指することが重要に立ります。という表別では、国際的視点を対するとともに、留学生の受入れ、送出しを含めて海外の教育ので機関との交流を活発に行い、人に選問を対するとともに、留学生の受入れ、送出しを含めて海外の教育研究機関との交流を活発に行い、人に選問を対するときなるに関いな事に対するの展別をの表別を対すると、というに関係的に活発に行い、人に選問を対する、対していまないでは、ボップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、、大に関いな事に対する、対しなが表別を対する、対していまないでは、オップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文語教育学研究、、大に関いないまないでは、オップトの大に関係を表しましまのでは、オップトの大に関いないまといまないまないまないまないまないまないまないまないますないまないまないまないまないまないまないます。		
会文化の発展に寄与し、人の心を動かす新しい情報学の世界的な教育研究拠点を目指す。 博士前期課程では、数理科学的素養と情報科学の基礎理論を身につけ、多様な情報システムを自在にプログラミングできる技術を備えて、人の感性や心理を考慮した情報メディアシステムの研究開発、企画及び構築を行うIT技術者並びにヒューマンインタフェースをデザインする人材を育成する。博士後期課程では、高い独創性を兼ね備えて、情報メディアの先端をリードする研究者及び高度専門職業人を育成する。ネットワークデザイン専攻では、様々な形態で時代とともに変遷していくネットワークを、工学的な視点から運用、計画及び解析することができる人材を育成する。また、現代社会においてネットワークは種々のものを繋ぐこととによって、新たな付加一世の行動パタことから、本ジャントワークにおけるユーザの行動パタニとがあら、下されておりして分析力を持った人材を育てる。博士前期課程では、持続高度な専門力を持った視野の広い技術者を育成が高いて活躍するグローバルな人材を育成する。博士の選問題を行う方できる。博士の選問題を行うな、という考定に立脚し、主体的に対して分析ので表し、主体的に活躍するととは、まなの要素に立ち、という考えに立脚し、大材を育成する。という考えに立脚し、おかまのできる人間を育成力を記し、いう考えに立脚し、おかまのできる人間を育成な自いで記憶している。という考えに立脚し、おかまのできる人間を育成な自いで記憶している。という考えに立りる場合にならな、大力で表していると思慮に、また、留学生の受入れ、国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語教育学研究、疾語教育学研究、文化・思想研究といった幅広い研究領域をカバーする。博士前期課程では、オップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語教育学研究、英語教育学研究、文化・思想研究と高度なな専門的知識を有する。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日本により表情を表しましましましましましましましましましましましまします。	先端メディアサ	先端メディアサイエンス専攻では、数理科学的なアプローチで先端メ
会文化の発展に寄与し、人の心を動かす新しい情報学の世界的な教育研究拠点を目指す。 博士前期課程では、数理科学的素養と情報科学の基礎理論を身につけ、多様な情報システムを自在にプログラミングできる技術を備えて、人の感性や心理を考慮した情報メディアシステムの研究開発、企画及び構築を行うIT技術者並びにヒューマンインタフェースをデザインする人材を育成する。博士後期課程では、高い独創性を兼ね備えて、情報メディアの先端をリードする研究者及び高度専門職業人を育成する。ネットワークデザイン専攻では、様々な形態で時代とともに変遷していくネットワークを、工学的な視点から運用、計画及び解析することができる人材を育成する。また、現代社会においてネットワークは種々のものを繋ぐこととによって、新たな付加一世の行動パタことから、本ジャントワークにおけるユーザの行動パタニとがあら、下されておりして分析力を持った人材を育てる。博士前期課程では、持続高度な専門力を持った視野の広い技術者を育成が高いて活躍するグローバルな人材を育成する。博士の選問題を行う方できる。博士の選問題を行うな、という考定に立脚し、主体的に対して分析ので表し、主体的に活躍するととは、まなの要素に立ち、という考えに立脚し、大材を育成する。という考えに立脚し、おかまのできる人間を育成力を記し、いう考えに立脚し、おかまのできる人間を育成な自いで記憶している。という考えに立脚し、おかまのできる人間を育成な自いで記憶している。という考えに立りる場合にならな、大力で表していると思慮に、また、留学生の受入れ、国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語教育学研究、疾語教育学研究、文化・思想研究といった幅広い研究領域をカバーする。博士前期課程では、オップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語教育学研究、英語教育学研究、文化・思想研究と高度なな専門的知識を有する。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日本により表情を表しましましましましましましましましましましましまします。	イエンス専攻	ディア技術を実現し、人に満足感や面白さ等の精神的豊かさを与えて、社
拠点を目指す。 博士前期課程では、数理科学的素養と情報科学の基礎理論を身につけ、多様な情報システムを自在にプログラミングできる技術を備えて、人の感性や心理を考慮した情報メディアシステムの研究開発、企画及び構築を行うIT技術者並びにヒューマンインタフェースをデザインする人材を育成する。博士後期課程では、高い独創性を兼ね備えて、情報メディアの先端をリードする研究者及び高度専門職業人を育成する。 ネットワークデザイン専攻では、様々な形態で時代とともに変遷していくネットワークを、工学的な視点から運用、計画及び解析することができる人材を育成する。また、現代社会においてネットワークは種々のものを繋ぐことによって、新たな付加価値を創造する特性があることができる人材を育成する。また、現代社会においてネットワークにおけるユーザの行動パターン、ユーザ満足度、ビジネスモデルに対りて分析力を持った人材を育てる。博士後期課程では、持続可能な社会の基盤を支えるネットワークシステムの運用及び計画を行う高度な専門力を持った視野の広い技術者を育成する。博士後期課程では、主体的に新分野を開拓する独創力があり、国際日本学明では、主体的に新分野を開拓する独創力があり、国際日本学の国際のできる人間とうな大け、主体のできる人間で表現することが重要では、その考えに立脚し、最近できる人間で表現することが重要でいる。という考えに立脚し、日本の文化及び社会システムを国際的な視点に意思を的確に表現することができる人材の育成を目指す。また、留学生研究、という考えについて、第四に行動できる人材の育成を目指す。また、留学生研究の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、大化・思想研究といった幅広い研究の対が一つる。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化に思想研究といった幅広いな専門の知識を有する。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日		
博士前期課程では、数理科学的素養と情報科学の基礎理論を身につけ、多様な情報システムを自在にプログラミングできる技術を備えて、人の感性や心理を考慮した情報メディアシステムの研究開発へ企画及び構築を方う I T技術者並びにヒューマンインタフェースをデザインする人材を育成する。博士後期課程では、高い独創性を兼ね備えて、情報メディアの先端をリードする研究者及び高度専門職業人を育成する。 神士後期課程では、高い独創性を兼ね備えて、情報メディアの先端をリードする研究者及び高度専門職業人を育成する。 本ットワークデザイン専攻では、様々な形態で時代とともに変遷していきる人材を育成する。また、現代社会においてネットワークを、工学的な視点から運用、計画及び解析することがのを繋ぐことによって、新たな付加価値を創造する特性があることから、ビジネスモデルに対して分析力を持った人材を育てる。 博士後期課程では、持続可能な社会の基盤を支えるネットワークシステムの運用及び計画を行う高度な専門力を持った視野の広い技術者を国際的に活躍するグローバルな人材を育成する。 博士後期課程では、主体的に新分野を開拓する独自力があり、に活躍するグローバルな人材を育成することが重要にないまするという考えに立脚さどが社会システムを国際的な視点をの認識を目指す。また、留学生の受入れ、当際日本学研究科できる人材の育成を目指す。また、留学生の受入れ、当際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。 国際日本学専攻では、ボップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英能・対の主に関すで、日本語と図っていく。 国際日本学専攻では、ボップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英化・思想研究といった幅広の発館域をカバーする、検討を開発といるに活躍しうる社会人の養成も目指す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日		
タ様な情報システムを自在にプログラミングできる技術を備えて、人の感性や心理を考慮した情報メディアシステムの研究開発、企画及び構築を行うIT技術者並びにヒューマンインタフェースをデザインする人材を育成する。博士後期課程では、高度専門職業人を育成する。 ネットワークデザイン専攻では、様々な形態で時代とともに変遷していくネットワークデザイン専攻では、様々な形態で時代とともに変遷していくネットワークを、工学的な視点から運用、できる人材を育成する。また、現代社会においてネットワークは種々のも本事、文でとによりロークにおけるユーザの人材を育ととことが、カロークにおけるユーザの人材を育ととことが、カローグが力を持った人材を育ととなって、新たな付加価値を創造するを特性が、ユーザジネスモデルに対して分析力を持った人材を育なの本事、文ではネットワークにおけるユーザの人材を育成する。 博士前期課程では、持続可能な事門力を持った視野の広い技術者を育成する。博士前期課程では、持続可能な事門力を持った視野の広い技術者を育成する。 国際日本学研究科では、国際的視点を持ち世界における日本を深である。 は、その認識に基づき的確に行動できる人間を育成することが視点に必要が、選票日本学研究科では、国際的視点を担保するとともに、留学生の変入れ、送出しをの報に基づき的確に行動できる人間を育成することができる人材ので機関との交流を活発といった場上によりました。 国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。 国際日本学専攻では、ボップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教を力バーする、博士前期課程では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教を力バーする、博士前期課程では、そうした幅広い視野と高度な専門的知識を力に行曜なり、研究者に限らず国際的に活躍しうる社会人の養成も目指す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日		· · · - · · · · · · · · · · · · · ·
性や心理を考慮した情報メディアシステムの研究開発、企画及び構築を行う I T技術者並びにヒューマンインタフェースをデザインする人材を育成する。博士後期課程では、高い独創性を兼ね備えて、情報メディアの先端をリードする研究者及び高度専門職業人を育成する。 ネットワークデザイン専攻では、様々な形態で時代とともに変遷していきる人材を育成する。また、現代社会においてネットワークを、工学的な視点から運用、計画及び解析することができる人材を育成する。また、現代社会においてネットワークは種々のもを繋ぐことによって、新たな付加価値を創造する特性があることから、ビジネスモデルに対して分析力を可能な自動のない技術者を育文をではネットワークにおけるユーザの行動パターン、ユーザ満足度、ビジネスモデルに対して分析力を持った人材を育てる。博士前期課程では、持続で社会の基盤を支えるネットワークシステムの運用規で計画を行う高度な専門力を持った視野の広い技術者を育成する。博士後期課程では、持続の事が関拓する独創力があり、国際日本学研究科では、国際的視点を持ち世界における日本を深く認識し、の考えに立脚し、異文化及び社会システムを理解するとともに、自事との受入れ、送出しを含めて海外の教育研究機関との交流を目に立き思を的確に表現することができる人間を育成することができる人を理解するとともに、留学生の受入れ、送出しを含めて海外の教育研究機関との交流を活発に行い、本研究科が国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生、よれで制御完といった幅広の研究、日本語学・日本師教育学研究、英語教育学研究、大を書成し、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生、異文化間教育究といった幅が、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、日本語学・日本語教育学研究、日本語学・日本語学・日本語学・日本語学・日本語学・日本語学・日本語学・日本語学・		┃ 博士前期課程では、数理科学的素養と情報科学の基礎理論を身につけ、↓
性や心理を考慮した情報メディアシステムの研究開発、企画及び構築を行う I T技術者並びにヒューマンインタフェースをデザインする人材を育成する。博士後期課程では、高い独創性を兼ね備えて、情報メディアの先端をリードする研究者及び高度専門職業人を育成する。 ネットワークデザイン専攻では、様々な形態で時代とともに変遷していきる人材を育成する。また、現代社会においてネットワークを、工学的な視点から運用、計画及び解析することができる人材を育成する。また、現代社会においてネットワークは種々のもを繋ぐことによって、新たな付加価値を創造する特性があることから、ビジネスモデルに対して分析力を可能な自動のない技術者を育文をではネットワークにおけるユーザの行動パターン、ユーザ満足度、ビジネスモデルに対して分析力を持った人材を育てる。博士前期課程では、持続で社会の基盤を支えるネットワークシステムの運用規で計画を行う高度な専門力を持った視野の広い技術者を育成する。博士後期課程では、持続の事が関拓する独創力があり、国際日本学研究科では、国際的視点を持ち世界における日本を深く認識し、の考えに立脚し、異文化及び社会システムを理解するとともに、自事との受入れ、送出しを含めて海外の教育研究機関との交流を目に立き思を的確に表現することができる人間を育成することができる人を理解するとともに、留学生の受入れ、送出しを含めて海外の教育研究機関との交流を活発に行い、本研究科が国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生、よれで制御完といった幅広の研究、日本語学・日本師教育学研究、英語教育学研究、大を書成し、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生、異文化間教育究といった幅が、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、日本語学・日本語教育学研究、日本語学・日本語学・日本語学・日本語学・日本語学・日本語学・日本語学・日本語学・		多様か情報システムを自在にプログラミングできろ技術を備えて 人の感
う I T技術者並びにヒューマンインタフェースをデザインする人材を育成する。博士後期課程では、高い独創性を兼ね備えて、情報メディアの先端をリードする研究者及び高度専門職業人を育成する。 ネットワークデザイン専攻では、様々な形態で時代とともに変遷していてネットワークを、工学的な視点から運用、計画及び解析することができる人材を育成する。また、現代社会においてネットワークは種々のも本事攻ではネットワークにおけるユーザの行動パターン、ユーザ満足度、ビジネスモデルに対して分析力を持った人材を育てる。博士前期課程では、対して分析力を持った視野を開拓するが、1年前期課程では、主体的に新分野を開拓する独創力があり、国際日本学研究科では、国際的視点を持ち世界における日本を深く認識し、お考えに立脚し、日本の文化及び社会システムを国際的な視点に立言思を的確に表現することができる人間を育成することが重要を的確に表現することができる人間を育成することが、自らの受入れ、送出しを含めて海外の教育研究機関との交流を活発に行い、本研究科が国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。 国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、大思想研究といった幅広い研究和究、英語教育学研究、文化、思想研究といった幅広な専門的知識をわれて、表述の表述といった幅広い視野と高度な専門的知識をおする。博士前期課程では、そうした幅広い視野と高度な専門的知識を有指す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日本に表述の研究者に限らず国際的に活躍とうる社会人の養成し、研究者に限らず国際的に活躍とうる社会人の養成も目指す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日		
する。博士後期課程では、高い独創性を兼ね備えて、情報メディアの先端をリードする研究者及び高度専門職業人を育成する。 ネットワークデザイン専攻では、様々な形態で時代とともに変遷していくネットワークを、工学的な視点から運用、計画及び解析することができる人材を育成する。また、現代社会においてネットワークにおけるユーザの行動パターン、ユーザ満足度、ビジネスモデルに対して分析力を持った人材を育てる。博士前期課程では、持続可能な社会の基盤を支えるネットワークシステムの運用及び計画を行う高度な専門力を持った視野の広い技術者を育成する。博士後期課程では、主体的に新分野を開拓する独創力があり、国際的に活躍するグローバルな人材を育成する。という考えに立脚し、日本の文化及び社会システムを国際的な視点に基づき的確に表明するとともに、留学生の受入れ、送出しを含めて海外の教育研究機関との交流を活発に行い、本研究科が国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。 国際日本学の国際の拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。 国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。 国際日本学専攻では、ボップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化より、ボップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、教育学研究、文化・思想研究といった幅広い研究領域をカバーする。博士前期課程では、そうした幅広い視野と高度な専門的知識を有する人材を養成し、研究者に限らず国際的に活躍しうる社会人の養成も目指す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日		
マットワークデザイン専攻では、様々な形態で時代とともに変遷していくネットワークデザイン専攻では、様々な形態で時代とともに変遷していくネットワークを、工学的な視点から運用、計画及び解析することができる人材を育成する。また、現代社会においてネットワークは種々のものを繋ぐことによって、新たな付加価値を創造するとから、本専攻ではネットワークにおけるユーザの行動パターン、ユーザ満足度、ビジネスモデルに対して分析力を持った人材を育てる。博士前期課程では、持続可能な社会の基盤を支えるネットワークシステムの運用及び計画を行う高度な専門力を持った視野の広い技術者を育成する。博士後期課程では、主体的に新分野を開拓する独創力があり、国際的に活躍するグローバルな人材を育成する。 国際日本学研究がは、国際的視点を持ち世界における日本を深く認識という考えに立脚し、日本の文化及び社会システムを国際的な視点に立ち理解し、異文化及び多様な社会システムを国際的な視点にご意思を的確に表現することができる人材の育成を目指す。また、留学生の受入れ、送出しを含めて海外の教育研究機関との交流を活発に行い、本研究科が国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。 国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、文化・思想研究といった幅広い研究領域をカバーする。博士前期課程では、そうした幅広い視野と高度な事門的知識を有する人材を養成し、研究者に限らず国際的に活躍しうる社会人の養成も目指す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日		
マットワークデザイン専攻では、様々な形態で時代とともに変遷していくネットワークデザイン専攻では、様々な形態で時代とともに変遷していくネットワークを、工学的な視点から運用、計画及び解析することができる人材を育成する。また、現代社会においてネットワークは種々のものを繋ぐことによって、新たな付加価値を創造するとから、本専攻ではネットワークにおけるユーザの行動パターン、ユーザ満足度、ビジネスモデルに対して分析力を持った人材を育てる。博士前期課程では、持続可能な社会の基盤を支えるネットワークシステムの運用及び計画を行う高度な専門力を持った視野の広い技術者を育成する。博士後期課程では、主体的に新分野を開拓する独創力があり、国際的に活躍するグローバルな人材を育成する。 国際日本学研究がは、国際的視点を持ち世界における日本を深く認識という考えに立脚し、日本の文化及び社会システムを国際的な視点に立ち理解し、異文化及び多様な社会システムを国際的な視点にご意思を的確に表現することができる人材の育成を目指す。また、留学生の受入れ、送出しを含めて海外の教育研究機関との交流を活発に行い、本研究科が国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。 国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、文化・思想研究といった幅広い研究領域をカバーする。博士前期課程では、そうした幅広い視野と高度な事門的知識を有する人材を養成し、研究者に限らず国際的に活躍しうる社会人の養成も目指す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日		する。博士後期課程では、高い独創性を兼ね備えて、情報メディアの先端
ネットワークデザイン専攻では、様々な形態で時代とともに変遷していてきる人材を育成する。また、現代社会においてネットワークは種々のも本事なではネットワークを、工が付加価値を創造する特性があることから、本事なではネットワークにおけるユーザの行動パターン、ユーザ満足度、ビジネスモデルに対して分析力を持った社会の基盤を支えるネットワークシステムの運用及び計画を行う高度な専門力を持関の広い技術者を育際的に活躍するグローバルな人材を育成する。 国際日本学研究科では、国際的視点を持ち世界における日本を深く認識し、その認識に基づき的確に行動できる人間を育成することが重要で立ちるという考えに立脚し、日本の文化及び社会システムを国際的な見らの受入れ、送出しを含めて海外の教育研究機関との交流を活発に行い、よどいのでは、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化制を育成との意識を対していく。 国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化制力が発展を図っていく。 国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教行の活動の展開を図っていく。 国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間対策との方動の展開を図っていく。 国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間対策との方動の展開を図っていく。 国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・関文に関係ので、企業・メディア・コンテンツ研究、多文に共生・関文に関係している。は関係している。は関係している。は関係している。は関係などは関係している。は関係などの表に対策を対象が表に対策を対象が表に関係している。は関係などの表に対策を対象が表に対策を対象が表に対すると高度なも目指す、関係は対象を対象が表に対象が表に対象が表に対象が表に対象が表に対象が表に対象が表に対象が表に		
ザイン専攻	ラ ハ ト ロ ・ カ デ	
る人材を育成する。また、現代社会においてネットワークは種々のものを繋ぐことによって、新たな付加価値を創造する特性があることから、本専攻ではネットワークにおけるユーザの行動パターン、ユーザ満足度、ビジネスモデルに対して分析力を持った人材を育てる。博士前期課程では、持続可能な社会の基盤を支えるネットワークシステムの運用及び計画を行う高度な専門力を持った視野の広い技術者を育成する。博士後期課程では、主体的に新分野を開拓する独創力があり、国際的に活躍するグローバルな人材を育成する。 国際日本学研究科では、国際的視点を持ち世界における日本を深く認識し、その認識に基づき的確に行動できる人間を育成することが重要であるという考えに立脚し、日本の文化とシステムを国際的な視点に立ち、担理解し、異文化及び多様な社会システムを国際的な視点に立ち、という考えに立脚できる人材の育成を目指す。また、留学生の受入れ、送出しを含めて海外の教育研究機関との交流を活発に行い、本で発利が国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。 国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、文化・思想研究といった幅広い研究領域をカバーする。博士前期課程では、そうした幅広い視野と高度な専門的知識を有する人材を養成し、研究者に限らず国際的に活躍しうる社会人の養成も目指す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日		
繋ぐことによって、新たな付加価値を創造する特性があることから、本専攻ではネットワークにおけるユーザの行動パターン、ユーザ満足度、ビジネスモデルに対して分析力を持った人材を育てる。 博士前期課程では、持続可能な社会の基盤を支えるネットワークシステムの運用及び計画を行う高度な専門力を持った視野の広い技術者を育成する。博士後期課程では、主体的に新分野を開拓する独創力があり、国際的に活躍するグローバルな人材を育成する。 国際日本学研究科では、国際的視点を持ち世界における日本を深く認識し、その認識に基づき的確に行動できる人間を育成することが重要であるとれ、多文化及び多様な社会システムを国際的な視点に立意思を的確に表現することができる人材の育成を目指す。また、留学生の受入れ、送出しを含めて海外の教育研究機関との交流を活発に行い、本研究科が国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。 国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、文化・思想研究といった幅広い研究領域をカバーする。博士前期課程では、そうした幅広い視野と高度な専門的知識を有お人材を養成し、研究者に限らず国際的に活躍しうる社会人の養成も目指す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日	サイン専攻	
繋ぐことによって、新たな付加価値を創造する特性があることから、本専攻ではネットワークにおけるユーザの行動パターン、ユーザ満足度、ビジネスモデルに対して分析力を持った人材を育てる。 博士前期課程では、持続可能な社会の基盤を支えるネットワークシステムの運用及び計画を行う高度な専門力を持った視野の広い技術者を育成する。博士後期課程では、主体的に新分野を開拓する独創力があり、国際的に活躍するグローバルな人材を育成する。 国際日本学研究科では、国際的視点を持ち世界における日本を深く認識し、その認識に基づき的確に行動できる人間を育成することが重要であるとれ、多文化及び多様な社会システムを国際的な視点に立意思を的確に表現することができる人材の育成を目指す。また、留学生の受入れ、送出しを含めて海外の教育研究機関との交流を活発に行い、本研究科が国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。 国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、文化・思想研究といった幅広い研究領域をカバーする。博士前期課程では、そうした幅広い視野と高度な専門的知識を有お人材を養成し、研究者に限らず国際的に活躍しうる社会人の養成も目指す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日		る人材を育成する。また、現代社会においてネットワークは種々のものを
文ではネットワークにおけるユーザの行動パターン、ユーザ満足度、ビジネスモデルに対して分析力を持った人材を育てる。 博士前期課程では、持続可能な社会の基盤を支えるネットワークシステムの運用及び計画を行う高度な専門力を持った視野の広い技術者を育成する。博士後期課程では、主体的に新分野を開拓する独創力があり、国際的に活躍するグローバルな人材を育成する。 国際日本学研究科では、国際的視点を持ち世界における日本を深く認識し、その認識に基づき的確に行動できる人間を育成することが重要であるという考えに立脚し、日本の文化及び社会システムを国際的な視点に立ち理解し、異文化及び多様な社会システムを理解するとともに、自らの意思を的確に表現することができる人材の育成を目指す。また、留学生の受入れ、送出しを含めて海外の教育研究機関との交流を活発に行い、本研究科が国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。 国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、文化・思想研究といった幅広い研究領域をカバーする。博士前期課程では、そうした幅広い視野と高度な専門的知識を有する人材を養成し、研究者に限らず国際的に活躍しうる社会人の養成も目指す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日		
ネスモデルに対して分析力を持った人材を育てる。 博士前期課程では、持続可能な社会の基盤を支えるネットワークシステムの運用及び計画を行う高度な専門力を持った視野の広い技術者を育成する。博士後期課程では、主体的に新分野を開拓する独創力があり、国際的に活躍するグローバルな人材を育成する。 国際日本学研究科では、国際的視点を持ち世界における日本を深く認識し、その認識に基づき的確に行動できる人間を育成することが重要であるという考えに立脚し、日本の文化及び社会システムを国際的な視点に立ち理解し、異文化及び多様な社会システムを理解するとともに、自らの意思を的確に表現することができる人材の育成を目指す。また、留学生の受入れ、送出しを含めて海外の教育研究機関との交流を活発に行い、本研究科が国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。 国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、文化・思想研究といった幅広い研究領域をカバーする。博士前期課程では、そうした幅広い視野と高度な専門的知識を有する人材を養成し、研究者に限らず国際的に活躍しうる社会人の養成も目指す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日		
博士前期課程では、持続可能な社会の基盤を支えるネットワークシステムの運用及び計画を行う高度な専門力を持った視野の広い技術者を育成する。博士後期課程では、主体的に新分野を開拓する独創力があり、国際的に活躍するグローバルな人材を育成する。 国際日本学研究科では、国際的視点を持ち世界における日本を深く認識し、その認識に基づき的確に行動できる人間を育成することが重要であるという考えに立脚し、日本の文化及び社会システムを国際的な視点に立ち理解し、異文化及び多様な社会システムを理解するとともに、自らの意思を的確に表現することができる人材の育成を目指す。また、留学生の受入れ、送出しを含めて海外の教育研究機関との交流を活発に行い、本研究科が国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。 国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、文化・思想研究といった幅広い研究領域をカバーする。博士前期課程では、そうした幅広い視野と高度な専門的知識を有する人材を養成し、研究者に限らず国際的に活躍しうる社会人の養成も目指す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日		
ムの運用及び計画を行う高度な専門力を持った視野の広い技術者を育成する。博士後期課程では、主体的に新分野を開拓する独創力があり、国際的に活躍するグローバルな人材を育成する。 国際日本学研究科では、国際的視点を持ち世界における日本を深く認識し、その認識に基づき的確に行動できる人間を育成することが重要であるという考えに立脚し、日本の文化及び社会システムを国際的な視点に立ち理解し、異文化及び多様な社会システムを理解するとともに、自らの意思を的確に表現することができる人材の育成を目指す。また、留学生の受入れ、送出しを含めて海外の教育研究機関との交流を活発に行い、本研究科が国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。 国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、文化・思想研究といった幅広い研究領域をカバーする。博士前期課程では、そうした幅広い視野と高度な専門的知識を有する人材を養成し、研究者に限らず国際的に活躍しうる社会人の養成も目指す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日		
ムの運用及び計画を行う高度な専門力を持った視野の広い技術者を育成する。博士後期課程では、主体的に新分野を開拓する独創力があり、国際的に活躍するグローバルな人材を育成する。 国際日本学研究科では、国際的視点を持ち世界における日本を深く認識し、その認識に基づき的確に行動できる人間を育成することが重要であるという考えに立脚し、日本の文化及び社会システムを国際的な視点に立ち理解し、異文化及び多様な社会システムを理解するとともに、自らの意思を的確に表現することができる人材の育成を目指す。また、留学生の受入れ、送出しを含めて海外の教育研究機関との交流を活発に行い、本研究科が国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。 国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、文化・思想研究といった幅広い研究領域をカバーする。博士前期課程では、そうした幅広い視野と高度な専門的知識を有する人材を養成し、研究者に限らず国際的に活躍しうる社会人の養成も目指す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日		┃ 博士前期課程では、持続可能な社会の基盤を支えるネットワークシステ┃
る。博士後期課程では、主体的に新分野を開拓する独創力があり、国際的に活躍するグローバルな人材を育成する。 国際日本学研究科では、国際的視点を持ち世界における日本を深く認識し、その認識に基づき的確に行動できる人間を育成することが重要であるという考えに立脚し、日本の文化及び社会システムを国際的な視点に立ち理解し、異文化及び多様な社会システムを理解するとともに、自らの意思を的確に表現することができる人材の育成を目指す。また、留学生の受入れ、送出しを含めて海外の教育研究機関との交流を活発に行い、本研究科が国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。 国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、文化・思想研究といった幅広い研究領域をカバーする。博士前期課程では、そうした幅広い視野と高度な専門的知識を有する人材を養成し、研究者に限らず国際的に活躍しうる社会人の養成も目指す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日		
に活躍するグローバルな人材を育成する。 国際日本学研究科では、国際的視点を持ち世界における日本を深く認識し、その認識に基づき的確に行動できる人間を育成することが重要であるという考えに立脚し、日本の文化及び社会システムを国際的な視点に立ち理解し、異文化及び多様な社会システムを理解するとともに、自らの意思を的確に表現することができる人材の育成を目指す。また、留学生の受入れ、送出しを含めて海外の教育研究機関との交流を活発に行い、本研究科が国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。 国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、文化・思想研究といった幅広い研究領域をカバーする。博士前期課程では、そうした幅広い視野と高度な専門的知識を有する人材を養成し、研究者に限らず国際的に活躍しうる社会人の養成も目指す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日		
国際日本学研究科では、国際的視点を持ち世界における日本を深く認識し、その認識に基づき的確に行動できる人間を育成することが重要であるという考えに立脚し、日本の文化及び社会システムを国際的な視点に立ち理解し、異文化及び多様な社会システムを理解するとともに、自らの意思を的確に表現することができる人材の育成を目指す。また、留学生の受入れ、送出しを含めて海外の教育研究機関との交流を活発に行い、本研究科が国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。 国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、文化・思想研究といった幅広い研究領域をカバーする。博士前期課程では、そうした幅広い視野と高度な専門的知識を有する人材を養成し、研究者に限らず国際的に活躍しうる社会人の養成も目指す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日		
国際日本学研究 科 し、その認識に基づき的確に行動できる人間を育成することが重要であるという考えに立脚し、日本の文化及び社会システムを国際的な視点に立ち理解し、異文化及び多様な社会システムを理解するとともに、自らの意思を的確に表現することができる人材の育成を目指す。また、留学生の受入れ、送出しを含めて海外の教育研究機関との交流を活発に行い、本研究科が国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。 国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、文化・思想研究といった幅広い研究領域をカバーする。博士前期課程では、そうした幅広い視野と高度な専門的知識を有する人材を養成し、研究者に限らず国際的に活躍しうる社会人の養成も目指す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日		
国際日本学研究 科 し、その認識に基づき的確に行動できる人間を育成することが重要であるという考えに立脚し、日本の文化及び社会システムを国際的な視点に立ち理解し、異文化及び多様な社会システムを理解するとともに、自らの意思を的確に表現することができる人材の育成を目指す。また、留学生の受入れ、送出しを含めて海外の教育研究機関との交流を活発に行い、本研究科が国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。 国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、文化・思想研究といった幅広い研究領域をカバーする。博士前期課程では、そうした幅広い視野と高度な専門的知識を有する人材を養成し、研究者に限らず国際的に活躍しうる社会人の養成も目指す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日		┃ 国際日本学研究科では、国際的視点を持ち世界における日本を深く認識 ┃
国際日本学研究 科 という考えに立脚し、日本の文化及び社会システムを国際的な視点に立ち理解し、異文化及び多様な社会システムを理解するとともに、自らの意思を的確に表現することができる人材の育成を目指す。また、留学生の受入れ、送出しを含めて海外の教育研究機関との交流を活発に行い、本研究科が国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。 国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、文化・思想研究といった幅広い研究領域をカバーする。博士前期課程では、そうした幅広い視野と高度な専門的知識を有する人材を養成し、研究者に限らず国際的に活躍しうる社会人の養成も目指す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日		
理解し、異文化及び多様な社会システムを理解するとともに、自らの意思を的確に表現することができる人材の育成を目指す。また、留学生の受入れ、送出しを含めて海外の教育研究機関との交流を活発に行い、本研究科が国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。 国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、文化・思想研究といった幅広い研究領域をカバーする。博士前期課程では、そうした幅広い視野と高度な専門的知識を有する人材を養成し、研究者に限らず国際的に活躍しうる社会人の養成も目指す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日		
科 を的確に表現することができる人材の育成を目指す。また、留学生の受入れ、送出しを含めて海外の教育研究機関との交流を活発に行い、本研究科が国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。 国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、文化・思想研究といった幅広い研究領域をカバーする。博士前期課程では、そうした幅広い視野と高度な専門的知識を有する人材を養成し、研究者に限らず国際的に活躍しうる社会人の養成も目指す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日	国際日本学研究	
を的確に表現することができる人材の育成を目指す。また、留学生の受入れ、送出しを含めて海外の教育研究機関との交流を活発に行い、本研究科が国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。 国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、文化・思想研究といった幅広い研究領域をカバーする。博士前期課程では、そうした幅広い視野と高度な専門的知識を有する人材を養成し、研究者に限らず国際的に活躍しうる社会人の養成も目指す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日		
れ、送出しを含めて海外の教育研究機関との交流を活発に行い、本研究科が国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。 国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、文化・思想研究といった幅広い研究領域をカバーする。博士前期課程では、そうした幅広い視野と高度な専門的知識を有する人材を養成し、研究者に限らず国際的に活躍しうる社会人の養成も目指す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日	71-7	を的確に表現することができる人材の育成を目指す。また、留学生の受入
が国際日本学の国際的拠点となるよう研究活動の展開を図っていく。 国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、文化・思想研究といった幅広い研究領域をカバーする。博士前期課程では、そうした幅広い視野と高度な専門的知識を有する人材を養成し、研究者に限らず国際的に活躍しうる社会人の養成も目指す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日		
国際日本学専攻では、ポップカルチャー研究、企業・メディア・コンテンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、文化・思想研究といった幅広い研究領域をカバーする。博士前期課程では、そうした幅広い視野と高度な専門的知識を有する人材を養成し、研究者に限らず国際的に活躍しうる社会人の養成も目指す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日		
ンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研究、英語教育学研究、文化・思想研究といった幅広い研究領域をカバーする。博士前期課程では、そうした幅広い視野と高度な専門的知識を有する人材を養成し、研究者に限らず国際的に活躍しうる社会人の養成も目指す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日		
完、英語教育学研究、文化・思想研究といった幅広い研究領域をカバーする。博士前期課程では、そうした幅広い視野と高度な専門的知識を有する人材を養成し、研究者に限らず国際的に活躍しうる社会人の養成も目指す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日		
完、英語教育学研究、文化・思想研究といった幅広い研究領域をカバーする。博士前期課程では、そうした幅広い視野と高度な専門的知識を有する人材を養成し、研究者に限らず国際的に活躍しうる社会人の養成も目指す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日		ンツ研究、多文化共生・異文化間教育研究、日本語学・日本語教育学研
国際日本学専攻 る。博士前期課程では、そうした幅広い視野と高度な専門的知識を有する 人材を養成し、研究者に限らず国際的に活躍しうる社会人の養成も目指 す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日		
人材を養成し、研究者に限らず国際的に活躍しうる社会人の養成も目指 す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日	国際日本学事功	
す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日	四际日平子导火	
		す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図り、国際日
アガサッ元以に用すしノる木がく玉凹は金爬で別ノツハル省で食がりる。 【		
		r - 」~ /u/以に fl 丿 ∪ 丿 ひ木が \ 土田'は土映 C fl /明 儿'日 C 区房り ′ 切。

	等、一国だけでは対応できない地球規模の諸問題(グローバル・イ
	シュー)に対して、より高度な専門教育を展開することが不可欠となって
グローバル・ガバナンス研究科	いる。このような背景のもと、グローバル・ガバナンス研究科は、研究者
	として自立して研究活動を行い得る能力を養うことはもとより、政策立案
	者・遂行者、国際機関・国際NGOの専門家等、国際社会の多様な場にお
	いても、課題解決と新たな価値の創造に貢献し得る人材を育成することを
	目的とする。
グローバル・ガ バナンス専攻	グローバル・ガバナンス専攻は、「公共政策」、「国際開発政策」及び
	┃「地域マネジメント」の3つのプログラムを提供し、グローバルな公共政
	第の組占を持ち、地球環境問題の解決、世界的な貧富の核美の具正、人権
	の保障、氏王化雅進、地域の沽性化、危機管埋等の政策目標に貸する戦略
	【についての研究能力を有する人材養成を目指す。
	策の視点を持ち、地球環境問題の解決、世界的な貧富の格差の是正、人材の保障、民主化推進、地域の活性化、危機管理等の政策目標に資する戦略についての研究能力を有する人材養成を目指す。